

大雪山国立公園連絡協議会登山道維持管理部会（第5回）  
表大雪地域/東大雪地域合同会議

日時：令和5年6月20日（火）  
14:00～17:00  
場所：上川町役場大会議室  
（オンライン併用）

次 第

1. 開会

2. 議事

（1）登山道等の協働型管理の進め方について

（2）登山道等管理に関する個別調整案件について

（3）大雪山の保全ルールに関する一元的な情報発信について

<休憩>

3. 報告事項

各団体からの活動予定等について

4. その他

5. 閉会

## 【配付資料】

### 次第・出席者名簿

資料 1 大雪山国立公園における登山道等の協働型管理の進め方について

資料 2-1 登山道維持管理部会登山道補修技術検討会設置要綱（案）

資料 2-2 赤岳登山道整備に係る補修作業の進め方について

資料 3 大雪山の保全ルールに関する一元的情報発信について

資料 4-1 令和 5 年度における登山道等再整備の予定について

資料 4-2 十勝総合振興局からの情報共有

資料 4-3 鹿追町からの情報共有

令和5年6月20日

大雪山国立公園連絡協議会 登山道維持管理部会（第5回）  
表大雪地域/東大雪地域合同会議 出席者名簿

【構成員】

分野	名称	出席者（敬称略）	備考
関係行政機関	上川中部森林管理署	総括森林整備官 阿部 恭久	ウェブ
	上川南部森林管理署	森林情報管理官（管理） 米田 和敏 総務グループ（管理） 田辺 結葉 上富良野森林官 三上 祥隆	ウェブ
	北海道上川総合振興局	環境生活課 主査 中島 浩之 環境生活課 主事 木幡 祐希	会場
	富良野市	—	欠席
	上川町	産業経済課 商工観光グループ係長 畠山 直樹 主事 合佐昆陵汰	会場
	東川町（旭岳ビジターセンター）	地域起こし協力隊 土井 啓子	ウェブ
	美瑛町	—	欠席
	上富良野町	—	欠席
	南富良野町	—	欠席
	十勝西部森林管理署 東大雪支署	事務管理官 前畑 慎一 総務グループ 小川 拓未	ウェブ
	北海道十勝総合振興局	環境生活課 係長 小川 明子 主事 村上 桐生	ウェブ
	士幌町	—	欠席
	上士幌町	商工観光課 主幹 木田 克則	ウェブ
	鹿追町	商工観光課 係長 常清 拓也 白石 隆任	ウェブ
	新得町	産業課 観光振興係長 花房 弘康	ウェブ
	維持管理・ 利用・環境 教育関係団体	NPO アース・ウィンド	代表 横須賀邦子 副代表 関口 理行
NPO 法人かむい		—	欠席
NPO 法人大雪山自然学校		旭岳自然保全員 社本 麗南	ウェブ
勤労者山岳連盟（道央地区）		副理事長兼 自然保護委員長 伊吹 省道	ウェブ
合同会社北海道山岳整備／ 一般社団法人大雪山・山守隊		代表 岡崎 哲三	会場
山樂舎 BEAR		代表 佐久間 弘 （兼層雲峡ビジターセンター インタープリター）	会場
大雪山倶楽部		副代表 森田 秀明	会場
大雪山国立公園パークボラン ティア連絡会		会長 垣内 雅人	会場

	TREE LIFE	—	欠席
	富良野山岳会	—	欠席
	北海道山岳ガイド協会 (表大雪地区)	—	欠席
	Asahidake Trail Keeper	代表 藤 このみ	ウェブ
	NPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンター	—	欠席
	新得山岳会	事務局長 富山 幸朗	ウェブ
	十勝山岳連盟	—	欠席
	大雪と石狩の自然を守る会	—	欠席
自然保護関係団体	山のトイレを考える会	代表 小枝 正人 事務局長 仲俣 善雄	ウェブ
調査・研究関係	山岳レクリエーション管理研究会	事務局長 山口 和男	ウェブ
	北海道大学大学院地球環境科学研究院	教授 渡邊 悌二	ウェブ
	北海道大学大学院農学研究院	准教授 愛甲 哲也	ウェブ

【オブザーバー（出席団体のみ記載）】

分野	名称	出席者（敬称略）	備考
維持管理・利用・環境教育関係団体	公益社団法人 日本山岳会北海道支部	役員 藤木 俊三 藤 理恵子	会場 ウェブ

会場出席 7 団体 / 9 名 ウェブ出席 18 団体 / 25 名

【事務局】

所属	出席者	備考
北海道地方環境事務所 大雪山国立公園管理事務所	所長 広野 行男	
	国立公園利用企画官 高橋 広子	
	国立公園管理官 山田 秋奈	
	係員 西井 野乃香	
	自然保護官補佐 忠鉢 伸一	
	自然保護官補佐 村岡 龍岳	
東川管理官事務所	国立公園管理官 福濱 有喜子	
	自然保護官補佐 渡邊 あゆみ	
上士幌管理官事務所	国立公園管理官 齋藤 佑介	
	自然保護官補佐 上村 哲也	

## 大雪山国立公園における登山道等の協働型管理の進め方について

### 1. 表大雪／東大雪登山道維持管理部会等の開催経過

令和2年度から令和4年度にかけて開催された登山道維持管理部会及び登山道補修技術検討会における主な議題及び内容は、次のとおり。

#### (1) 表大雪／東大雪登山道維持管理部会

##### <第1回>

###### ■日程

令和2年12月

###### ■主な議題・内容

- 登山道維持管理部会の設置・運営
- 登山道の荒廃等課題の解決に向けて
  - ・登山道の未執行区間の解消
  - ・誘導標識の現状と老朽化等への対応

##### <第2回>

###### ■日程

令和3年6月

###### ■主な議題・内容

- 登山道荒廃等の課題解決に向けて
  - ・未執行路線（「美瑛富士線歩道」「糠平ウペペサンケ山線歩道」）の課題事例の共有
- 誘導標識の現状と老朽化等への対応

##### <第3回>

###### ■日程

令和3年12月

###### ■主な議題・内容

- 登山道荒廃等の課題解決に向けて
  - ・歩道管理者が「存在する場合」「不在の場合」のメリット・デメリットの整理
  - ・関係機関による歩道管理の分担イメージ
  - ・白雲岳の協力金モデル事例の共有

<第 4 回> ※表大雪／東大雪合同開催

■ 日程

令和 4 年 12 月

■ 主な議題・内容

- 協力金等を活用した登山道の維持管理について
  - ・ 白雲岳周辺登山道、中岳裾合平線、ヤンベタツプ五色岳線の取組状況
- 登山道の継続的な維持管理体制について
  - ・ 登山道等の継続的な維持管理についての考え方
  - ・ 一元的な維持管理体制の構築に向けた考え方

(2) 登山道補修技術検討会

<第 1 回>

■ 日程

令和 4 年 3 月

■ 主な議題・内容

- 登山道補修技術検討会の目的
  - ・ 維持管理作業実施手順マニュアルの確認
- 令和 3 年度登山道補修内容の評価及び分析
  - ・ 姿見の池園地、天女が原、銀泉台白雲岳線（赤岳第 4 雪渓）、大雪高原温泉沼めぐりコース
- 登山道補修案件等の記録方法
  - ・ 登山道維持管理データベース

<第 2 回>

■ 日程

令和 5 年 2 月

■ 主な議題・内容

- 登山道補修技術検討会の目的
  - ・ 内規（案）の提示
- 令和 4 年度登山道補修内容の評価及び分析
  - ・ ヤンベタツプ五色岳線（沼ノ原）、大雪山縦走線（白雲岳周辺登山道）、銀泉台白雲岳線（赤岳第 4 雪渓）
- 登山道補修案件等の記録方法
  - ・ 動画記録作成スケジュール（案）

## 2. 登山道等の協働型管理の進め方について

大雪山国立公園ビジョンの実現を図るため、これまでの本維持管理部会による協議の経過及び現時点における登山道管理の現状（〈別紙〉大雪山国立公園における登山道の管理状況）などを踏まえ、今後、次に挙げる各取組を通じ、協働型管理を進めることとする（別添参照）。

これらの各取組について、今後、登山道維持管理部会を通じ具体的な議論を進めることとする。

### ◆保全対策のための計画づくり

- ・登山道等の荒廃状況及び管理状況を踏まえ、原生的な自然環境の保全が特に必要とされる路線・地域を優先し、大雪山グレードに応じた保全対策を実施する。
- ・保全対策としては、必要に応じて自然環境を保全するための基盤的な登山道施設の整備を行い、自然環境の変化や利用状況に応じた順応的な維持管理を行う必要がある。このため、中長期的な視点からそれらの対策を行うための計画を作成する。

### ◆自然環境の保全・登山道等管理の取組実施

- ・「保全」と「利用」のバランスを確保し、登山道等の荒廃の課題解決に向け、登山道管理者と利用者等（登山者、ボランティア、民間活動団体、企業等の様々な主体を含む）が協力し、登山道等の整備・維持管理の取組を実施する。

### ◆登山道管理者の明確化

- ・登山道等の課題状況を踏まえ、必要とされる保全対策を円滑に実施するため、管理者が不在の路線について管理者を明確化（事業執行）する。
- ・登山道管理者と維持管理者（作業支援を行うボランティア、民間活動団体、企業等含む）との連携・協力関係を明確にし、体系的な維持管理を可能にする。

### ◆登山道等情報の記録・共有

- ・登山道の補修記録等を蓄積するデータベース構築に向けて、関係者が協力し、登山道等の情報（補修結果、植生回復の状況、変化等）について、動画を中心に定期的な記録を行い、関係者間で共有を図る。

### ◆登山道補修技術の検証・向上

- ・登山道補修に関する施工方法の検証及び技術の向上について、また、登山道補修計画の検討及び登山道補修結果の評価及び改善策について、検討を行う。

◆登山道管理水準等の見直し

- ・登山道等情報の記録結果及び登山道補修技術の検証結果を踏まえ、「大雪山国立公園登山道管理水準」及び「大雪山国立公園における登山道整備技術指針」の見直しに向けて、検討を行う。

◆人材育成

- ・登山道補修の実践、各種研修及び補修イベント等の様々な機会を通じて、補修技術者の人材育成を進める。人材育成にあたっては、ボランティアなものだけでなく、生業として成立させることも念頭に、後述する公園管理団体での通年雇用の可能性等についてもあわせて検討する。

◆取組成果等の情報発信

- ・大雪山国立公園の有する価値、それらを守るための取組や保全ルール、協働型管理を進めることの重要性等について、より確かに伝えるためにストーリー性を重視し、幅広い人々に向けて情報発信を行う。
- ・情報発信を行う際には、より幅広い層に情報が届くよう、発信する内容はもとより、発信するタイミングや発信媒体（SNS等）について工夫し、社会情勢等も踏まえて柔軟な発信を行う。

◆新たな賛同者の獲得

- ・登山者、ボランティア、民間活動団体、企業等の様々な主体の新たな賛同者を獲得することで、協力金等の拡大をはじめとするさらなる取組支援を得る。

◆保護と利用の仕組みづくり

- ・「白雲岳」や東川町等で進められているモデル的取組を大雪山公園全体に展開する仕組みづくりを進め、協力金や寄付金等を有効活用し、ボランティア等とも連携し、継続的な維持管理を実施する。

◆一元的な管理運営体制の構築

- ・大雪山国立公園全体の管理運営を戦略的に担うことのできる管理運営体制（公園管理団体）構築を目指す。構築に際しては、通年雇用を含めた人材育成と合わせた検討を行う。
- ・登山道、野営指定地、避難小屋、トイレ等の山岳地域における利用施設の一体的管理を行い、質の高い利用体験が可能な空間を維持する。

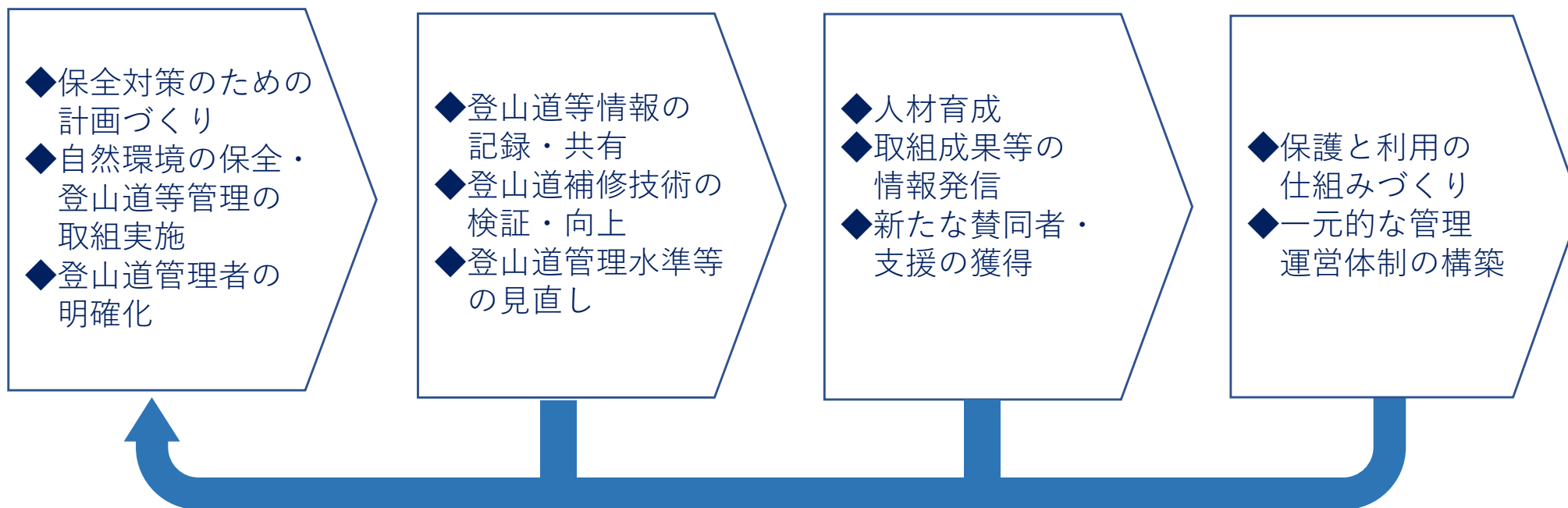


<大雪山国立公園ビジョン>

まもり、活かし、つなげよう みんなでつくる、世界を魅了する大雪山国立公園

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| (1)大雪山の自然環境が守られ、より豊かになった国立公園 | ⇒大雪山グレードに応じた保全                              |
| (2)魅力を活かし、質の高い利用体験ができる国立公園   | ⇒大雪山グレードに応じた管理と利用                           |
| (3)つながっていく国立公園               | ⇒来訪者に向けた情報発信<br>⇒大雪山国立公園に関わるすべての人々に向けた価値の発信 |

## 「協働型管理」によるビジョンの実現



大雪山国立公園ビジョンの実現に向け取組を加速・発展

<別紙>大雪山国立公園における登山道の管理状況

2023年6月現在

公園計画・大雪山グレード			事業執行の状況			再整備・維持管理等の状況 (R5年度予定を含む)				備考(記録)
番号	路線名	グレード	事業執行者	執行区間・内容	課題状況(保全対策ランク等)	事業・取組名	実施主体	取組内容	計画(R6年度以降)	
1	原始ヶ原線	G4	未執行			●下草刈、枝払い	富良野山岳会			
2	層雲峡ニセイカウシュツベ山線	(G3) ※朝陽山まで点線表示	未執行			●ササ刈り				
3	層雲峡勇駒別線	G4, G3, G2	北海道	■層雲峡集団施設地区～勇駒別集団施設地区	・「ランクA」：北海沢～北海岳分岐間、裏旭～旭岳間 ・「ランクB」：黒岳石室分岐～北海沢間、黒岳石室分岐～北嶺分岐、勇駒別園地～姿見の池園地	●登山道補修イベント	一般社団法人大雪山・山守隊 (発注：北海道)	・R4年度に黒岳石室～雲ノ平間か赤石川で補修イベントを実施予定	継続実施を予定	「たまには山に恩返し」
			(株)りんゆう観光	■黒岳7合目～見晴らし台			(株)りんゆう観光			
			環境省	■中岳分岐～間宮分岐	・中岳分岐～間宮分岐間で風衝地群落保全のための侵食対策が必要	●上川・東川地区登山道点検等業務 ●登山道補修業務(仮)	(同)北海道山岳整備(発注：環境省)	・点検、維持管理、モニタリング(中岳分岐～間宮分岐) ・R5年度に中岳分岐～間宮分岐間における侵食防止対策を予定	継続実施を予定	
5	紅葉谷線	G1	上川町	■紅葉谷入口～紅葉滝			上川町			
7	愛山溪北嶺岳線		北海道	■愛山溪温泉～北嶺分岐	・「ランクB」：北嶺岳～北嶺分岐 ・滝コース閉鎖		北海道		・滝コースについては現状確認を実施した上で閉鎖を継続予定	
			環境省	■三十三曲分岐～沼ノ平分岐			●上川地区登山道補修業務	(同)北海道山岳整備(発注：環境省)	・泥濘箇所へ飛び木道設置	
8	松仙園線	G4	環境省	■松仙園登山口～八島分岐	・泥濘箇所への歩道補修を実施するとともに、植生モニタリングが必要	●松仙園歩道改修業務	NPOかむい(発注：環境省)	・泥濘箇所へ飛び木道設置 ・植生モニタリング	継続実施を予定	
9	沼ノ平姿見の池線	G3, G2	環境省	■沼ノ平分岐～姿見の池	・過年度整備の木道が老朽化	●上川地区登山道補修業務 ●上川・東川地区登山道点検等業務	(同)北海道山岳整備(発注：環境省)	・登山道補修(三十三曲分岐～当麻乗越) ・スノーモービルによる資材荷揚げ ・点検、維持管理、モニタリング(三十三曲分岐～当麻乗越～姿見の池)	継続実施を予定	
10	当麻岳線	G4	未執行		・「ランクB」：安足間岳上部					北海道が歩道敷地を借地
11	中岳総合平線	G3, G4	北海道	■裾合平分岐～中岳温泉	・裾合平分岐～裾合平間の木道が老朽化	●CFを活用した登山道補修	一般社団法人大雪山・山守隊(発注：北海道)	・R4年度からCFを活用した登山道補修を実施・継続	継続実施を予定	「たまには山に恩返し」
			環境省	■中岳温泉～中岳分岐	・中岳温泉～中岳分岐間で風衝地群落保全のための侵食対策が必要	●中岳総合平線歩道再整備工事	環境省	・再整備工事(中岳温泉～中岳分岐)	再整備工事後の維持管理が必要	
12	大雪山縦走線	G5, G4	北海道	■北海岳分岐～白雲岳避難小屋 ■高根ヶ原分岐～富良野岳	・「ランクA」：北海岳分岐～白雲岳避難小屋分岐、ヒサゴ沼北分岐下部～ヒサゴ沼避難小屋分岐、ヒサゴ沼付近(雪渓下部)、トムラウシ山～南沼、富良野岳上部～富良野岳 ・「ランクB」：白雲岳避難小屋分岐～高根ヶ原分岐、平ヶ岳付近、忠別岳避難小屋分岐～忠別岳南避難小屋、	●白雲岳避難小屋周辺登山道維持管理協力金による登山道補修	(同)北海道山岳整備(発注：上川地区登山道等維持管理協議会)	・登山道補修(北海岳～白雲岳避難小屋)	継続実施を予定	
			環境省	■白雲岳避難小屋～高根ヶ原分岐 ※R5年度に高根ヶ原分岐～五色岳、ヒサゴ沼周辺を執行予定 案内図標識		●大雪山縦走線歩道再整備工事	環境省	・R5年度に再整備工事(高根ヶ原分岐～五色岳、ヒサゴ沼周辺)を予定	再整備工事後の維持管理が必要	
13	銀泉台白雲岳線	G4, G3, G2	北海道	■銀泉台～白雲岳	・「ランクB」：第一花園上部～赤岳	●登山道補修	登山道維持管理委員会(登山道補修技術検討会)	・R5年度にR3～4年度の施工箇所に対する改善補修を実施予定。	継続実施が必要	(旧)黒岳間宮岳線道路(歩道)
			環境省	案内図標識						
14	高原温泉小泉岳線	G4, G3	上川中部森林管理署	■高原温泉～小泉岳分岐	・「ランクB」：板垣新道分岐～白雲岳避難小屋分岐(未執行区間)					白雲岳協力金による補修対象区間
			環境省	案内図標識						
15	高原温泉高根ヶ原線	G3, G2	北海道	■高原温泉～高根ヶ原・空沼		●登山道補修 ●携帯トイレプースの設置	(同)北海道山岳整備	・泥濘箇所へ飛び木道設置 ・ヒグマセンターにおける募金の活用、ボランティア活動		
17	ヤンベタツ五色岳線	G4	北海道	■クチャンベツ沼ノ原登山口～沼ノ原分岐 ■沼ノ原大沼～五色岳	・「ランクA」：クチャンベツ沼ノ原登山口～沼ノ原分岐における中腹区間 ・沼ノ原大沼～五色岳間の木道が老朽化	●老朽化した沼ノ原大沼～五色岳間の木道の更新	北海道	・R4事業として一部試行 ・R5は、R4事業成果も踏まえて全体設計 ・R6以降、全体施工	・R5での設計に基づき順次施工	自然環境整備交付金使用
			環境省	■沼ノ原分岐～沼ノ原大沼			●上川・東川地区登山道点検等業務	(同)北海道山岳整備(発注：環境省)	・点検、維持管理、モニタリング(沼ノ原分岐～木道終点)	
18	勇駒別周回線	G1	東川町	■勇駒別集団施設地区			東川町	・維持管理		
19	天人峽勇駒別線	(G3) ※点線表示	未執行	■天人峽温泉	・「ランクA」：旭岳温泉方面登山口付近					通行止め(一般利用なし)
21	天人峽化雲岳線	G4, G2	北海道森林管理局(旭川分局)	■天人峽温泉～化雲岳	・「ランクA」：小化雲岳直下(ボン沼南)付近 ・「ランクB」：第二公園付近	●下草刈	林野庁上川中部森林管理署	・三十三曲がりの下草刈りを実施予定		
			環境省	案内図標識						
22	美瑛富士線	G3	未執行		・「ランクA」：標高1350m付近～美瑛富士避難小屋分岐・オプタテテ方面分岐	●枝払い、笹刈	美瑛山岳会			
23	白金温泉十勝岳線	G3, G2	北海道	■望岳台～十勝岳		①維持管理 ②登山道整備(PV行事)	①上川総合振興局 ②環境省(PV)	①望岳台付近ロープ張り ②登山道沿いのロープはり、ロープおろし		
			環境省	案内図標識						
24	望岳台十勝岳温泉線	G2	未執行							
25	美瑛岳線	G3	未執行		・「ランクB」：美瑛岳分岐～美瑛岳 ・北沢のハンゴの維持管理	●ボランティアで随時パトロール	美瑛山岳会	・ハンゴ、登下降用ロープの安全確認、側道の土砂除去		
26	三段山線	G3	上富良野町	■吹上温泉～三段山～十勝岳温泉		●標識整備	上富良野町	・老朽化した標識の再整備		
27	富良野岳上ホロカメツク山線	G3	北海道	■十勝岳温泉～富良野岳・上ホロカメツク山	・富良野岳上部における侵食、階段ハードル化	●登山道整備(PV行事) ●登山道整備	環境省(PV) 上川総合振興局	・PV活動による登山道沿いのロープ張り・下ろし ・富良野岳上部における浸食等の現場検証及び老朽化した標識整備再整備予定、(上川総合振興局)		
			環境省	案内図標識						
28	十勝三股ニベツ山線	G4	未執行		・前天狗岳下部における侵食	●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、ロープ張りを実施		
29	石狩連峰縦走線	G5, G4, G3	未執行			●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施		
30	糠平ウベベサンケ山線	G3	未執行			●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施		
31	糠平天宝山線	G2	未執行		・旧鉄道トンネル迂回箇所の危険箇所	●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施		
33	南ベウトル山線	G2	未執行			●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施		
34	天望山周回線	G2	十勝西部森林管理署東大雪支署	■白雲橋～然別湖南岸		●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施		
			環境省	案内図標識						
35	駒止湖東ヌブカウシヌブリ線	G2, G1	未執行			●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施		
36	西ヌブカウシヌブリ	G2	未執行			●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施		
37	トムラウシ山線	G5, G4	環境省	■トムラウシ温泉～トムラウシ分岐	・「ランクA」：トムラウシ分岐付近 ・「ランクB」：トムラウシ公園～トムラウシ分岐付近	●登山道整備事業	点検：新得山友会、補修：北海道山岳整備(発注：環境省)	・点検：簡易な維持修繕 ・補修：簡易木道施工	直轄路線として継続	「たまには山に恩返し」
39	曙橋十勝岳線	G4	未執行							

# 大雪山国立公園 登山道の事業執行状況 (令和5年6月現在)

- 環境省 … 予定
- 林野庁
- 北海道
- 自治体
- 民間

- 避難小屋
- トイレ (携帯トイレブース含)

**主なアクセス道**

- 国道・道道
- 町道
- ロープウェイ・ヘアリフト
- 林道
- (◎ 施設ゲート) (= 現在通行止め)

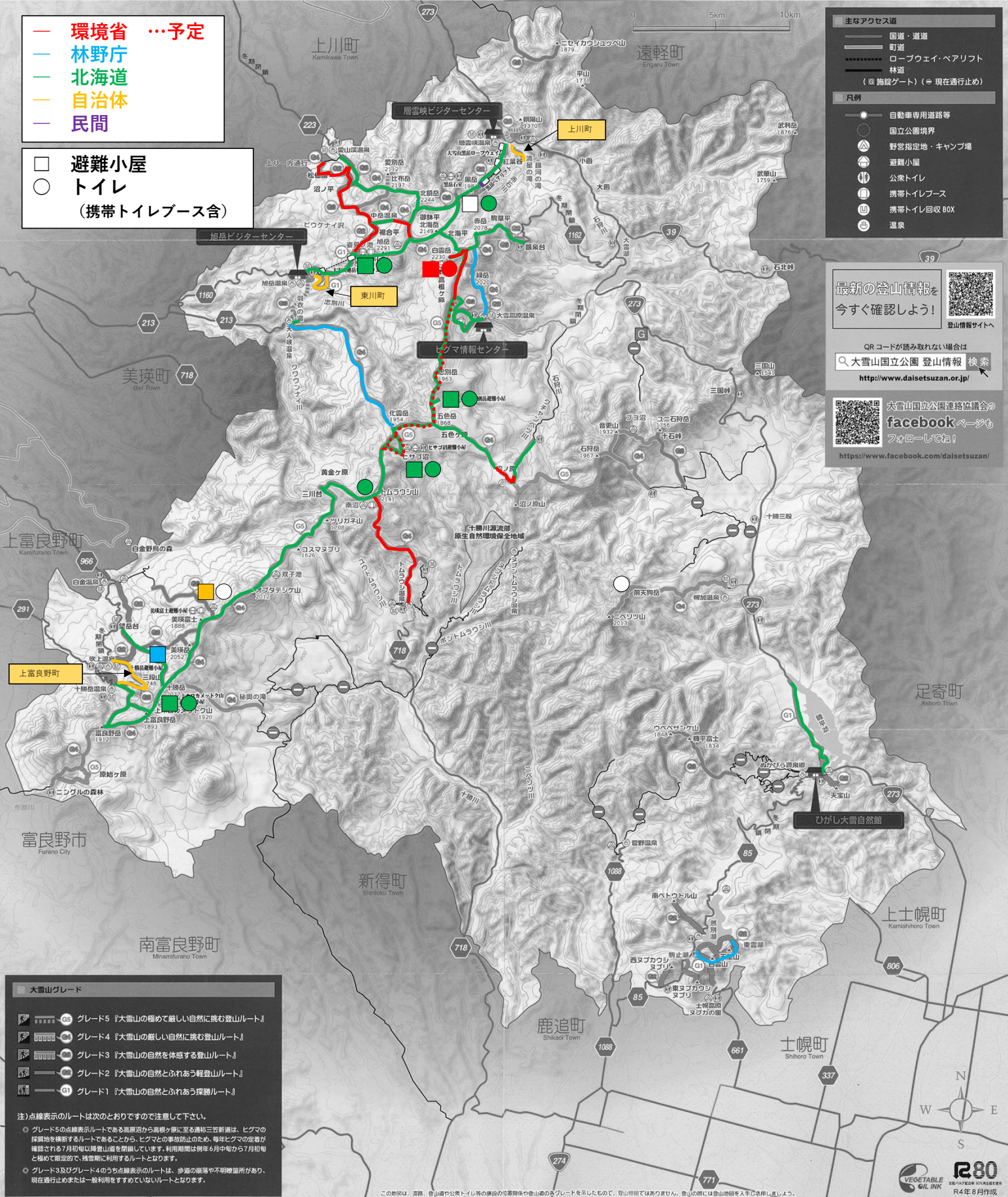
**凡例**

- 自動車専用道路等
- 国立公園境界
- ▲ 野営指定地・キャンプ場
- ▲ 避難小屋
- ▲ 公衆トイレ
- ▲ 携帯トイレブース
- ▲ 携帯トイレ回収BOX
- ▲ 温泉

最新の登山情報を  
今すぐ確認しよう!

QRコードが読み取れない場合は  
大雪山国立公園 登山情報 検索  
<http://www.daisetsuzan.or.jp/>

大雪山国立公園連絡協議会の  
facebook ページも  
フォローしてね!  
<https://www.facebook.com/daisetsuzan/>



**大雪山グレード**

- G5 グレード5 『大雪山の極めて厳しい自然に挑む登山ルート』
- G4 グレード4 『大雪山の厳しい自然に挑む登山ルート』
- G3 グレード3 『大雪山の自然を体感する登山ルート』
- G2 グレード2 『大雪山の自然とふれあう軽登山ルート』
- G1 グレード1 『大雪山の自然とふれあう探訪ルート』

注) 点線表示のルートは次のとおりですので注意して下さい。

- グレード5の点線表示ルートである車両道から避難小屋に至る至難3区間等は、ヒグマの採餌物を懸念するルートであることから、ヒグマとの事故防止のため、毎冬ヒグマの定着が確認される7月初旬以降登山道を閉鎖しています。利用期間は例年6月中旬から7月初旬と極めて限定的で、積雪期に利用するルートとなります。
- グレード3及びグレード4のうち点線表示のルートは、歩道の崩落や不明瞭箇所があり、現在通行止めまたは一般利用をすすめていないルートとなります。

この地図は、道庁、登山道や公衆トイレ等の施設の位置関係や登山道の名グレードを示したもので、登山時ではありません。登山の際は登山地図を手引きしご利用下さい。



# 登山道の保全対策ランク



**登山道の保全対策ランク**

- A 『保全上の課題が極めて大きい区間』
- B 『保全上の課題が大きい区間』
- C 『保全上の課題が中程度の区間』
- D 『保全上の課題が顕著ではない区間』
- 非適用（登山道として供用していません）

注）ランクCのうち点線表示のルートは、大雪山グレード（利用体験ランク）に応じます。（大雪山グレード（利用体験ランク）適用図を参照）

**主なアクセス道**

- 国道・道道      — 町道      - - - - - ロープウェイ・ペアリフト
- 林道（ 施設ゲート）（ 現在通行止）

登山道の保全対策ランク 適用図

出典：大雪山国立公園登山道管理水準2015年改定版

大雪山国立公園連絡協議会登山道維持管理部会  
登山道補修技術検討会設置要綱（案）

（目的）

第1条 大雪山国立公園連絡協議会東大雪登山道維持管理部会及び東大雪地域登山道維持管理部会規約第3条（2）に基づき、登山道の適正な維持管理を行うために必要となる登山道補修に関する施工方法の検証及び技術向上等の検討を行うため、登山道補修技術検討会（以下、技術検討会という。）を設置する。

（検討事項）

第2条 技術検討会は、前条の目的を達成するため、次の事項を検討する。

- （1）「大雪山ビジョン」及び「大雪山国立公園登山道管理水準」並びに「大雪山国立公園における登山道整備技術指針」に基づく、登山道補修に関する施工方法の検証及び技術の向上について
- （2）登山道補修計画の検討及び登山道補修結果の評価及び改善策の検討について
- （3）その他、前条の目的を達成するために必要な事項

（構成）

第3条 技術検討会は、大雪山国立公園連絡協議会登山道維持管理部会（表大雪地域及び東大雪地域）の構成員及びオブザーバーの中から、登山道補修に従事する維持管理団体、登山道補修に関する専門的知見を有す学識経験者及び技術者、登山道を管理する機関をもって構成する。

- 2 構成員は、検討が必要な事項に応じて、事務局が指名する。

（運営）

第4条 技術検討会は、各年度において必要に応じて事務局が招集し、事務局員が議事進行を務める。

- 2 構成員の過半数が必要と認める場合、構成員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（事務局）

第5条 技術検討会の事務局を大雪山国立公園管理事務所に置く。

（その他）

第6条 この要綱に定めるもののほか、技術検討会の運営に関し必要な事項については、必要に応じて事務局が別に定める。

付 則 この規約は令和5年 月 日から施行する。

## 赤岳登山道整備に係る補修作業の進め方について(案)

### 1 施工場所の確認

大雪山国立公園における登山道整備技術指針

#### (1) 利用グレード 3(抜粹)

積極的に利用密度を高めるような整備・管理は行わない

原生的自然環境の雰囲気優先とした、整備の可否判断、整備規模の設定、資材選定を行う

#### (2) 保全対策ランク B(抜粹)

##### ○ 自然条件

保全の必要性が高い植生(風衝地植物群落、雪田群落、高層湿原、高山荒原群落)や地形がある。

##### ○ 荒廃状況

登山道中に中規模、小規模な荒廃があり、この 10 年の進行速度は速く、今後 5~10 年で進行すると予想される。

### 2 修復計画

○ 保全修復のめざす姿、工法、規模、使用資材、役割分担等を整理

○ 修復計画を山岳関係者の情報交換会等で共有・確認し、関係者との合意形成に努める。

→ 登山道維持管理部会(登山道補修技術検討会)を活用

### 3 スケジュール

7月中旬 山岳関係者による現地調査

7月下旬 修復計画(案)作成し、関係者から意見聴取を行い計画作成

8月中 計画に基づき、資材や人材等の実施体制の確保

8月下旬~9月中旬 現場の修復作業

# 大雪山の保全ルールに関する一元的情報発信について

## ◆大雪山国立公園に関する情報

### 国立公園の一般ルール

#### ●国立公園の一般ルール

(例) 「国立公園の利用上のマナー」

ゴミを捨てない、花や植物を採らないください、野生動物に餌を与えないください、歩行中禁煙、たき火は指定の場所で行いましょう

### 安全登山に関する情報

#### ●安全登山に関する情報

(例) 安全対策（登山装備の確認）、気候・気象の情報、登山計画書の提出、入林簿への記載、グレードに応じた登山利用、ヒグマ対策

### 大雪山の保全ルール

#### ●大雪山の保全ルール \*大雪山登山におけるルール

(例) 「山岳地のルール」、「野営指定地のルール」、携帯トイレの使用、野生動物（ヒグマ等）への配慮

### 個別情報・普及啓発

#### ●個別情報・普及啓発

(例) 重要なお知らせ、各種利用情報、緊急情報、ドローンの使用、違法行為の防止（無許可による看板設置、伐採、損傷行為等）



# 大雪山の保全ルールに関する一元的情報発信について

## <現状と課題>

大雪山国立公園連絡協議会ウェブサイトの山岳利用に関する情報については、現状として主に次に挙げる課題がある。

- 登山者向けの必要情報が散在している。
  - ・ 「登山の予備知識」⇒安全対策、携帯トイレの使用、ヒグマについて 等
  - ・ 「重要なお知らせ」⇒大雪山国立公園の利用のルールとマナー
  - ・ 「登山エリアを指定して情報を見る」（登山地図）⇒大雪山グレード・トイレ情報入り登山地図
- 「山岳地のルール」の中に「野営指定地のルール」や「ヒグマのルール」に関する項目が挙げられていない。
- 「国立公園利用の一般ルール」と「山岳地のルール」が混在している。  
など



## <見直しの基本的考え方>

今回のルールの見直しにあたっては、次のことに留意し検討を行う。

- 山岳利用に関する情報について再整理した上で、優先すべき重要な情報を集約し情報発信する。
- 既存の各ルール（マナー）の様々な情報について、情報の項目・内容の階層化を行う（別紙参照）。
- 大雪山の山岳エリア全体の統ルールとし、「保全ルール」を明確に、かつ、より簡潔に示す。
- ルールに関して利用者の賛同や共感を得、自発的な行動につながるよう、表現方法を工夫する。
- ルールの情報については、発信媒体に応じた提供方法を工夫し一元的に発信する。

## ＜大雪山の保全ルール＞・・・大雪山を守るための基本の5ルール

### 【宣言型】

- ①登山道を歩きます　－登山道外には踏み込みません
- ②登山道を傷つけません　－土壌を守るためストックにキャップを付けます
- ③テントは指定地で張ります　－自然環境への影響を最小限におさえます
- ④携帯トイレを使います　－し尿とゴミはすべて持ち帰ります
- ⑤野生生物に配慮します　－野生動物にエサを与えずペットは持ち込みません

## <大雪山の保全ルール>・・・大雪山を守るための基本の5ルール

### 【呼びかけ型】

- ①登山道を歩こう　－登山道外に踏み込まないようにしましょう
- ②登山道を傷つけないようにしよう　－土壌を守るためストックにキャップを付けましょう
- ③テントは指定地で張ろう　－自然環境への影響を最小限におさえましょう
- ④携帯トイレを使おう　－し尿とゴミはすべて持ち帰りましょう
- ⑤野生生物に配慮しよう　－野生動物にエサを与えずペットは持ち込まないようにしましょう

## <大雪山の保全ルール>・・・大雪山を守るための基本の5ルール

### 【注意型】

- ①登山道を歩いてください　－植生保護のため登山道外に踏み込まないでください
- ②登山道を傷つけないでください　－ストック等で土壌をくずさないでください
- ③指定地以外でのキャンプは禁止です　－自然環境への影響を及ぼさないよう配慮してください
- ④携帯トイレを持参してください　－し尿とゴミはすべて持ち帰ってください
- ⑤野生生物に配慮してください　－野生動物にエサを与えずペットは持ち込まないでください

## ①登山道を歩きます ー 登山道外には踏み込みません



- 植生及び土壌保護のため、し尿の排泄、休憩、写真撮影等のために登山道外に立ち入らないようにしましょう。
- 登山道が残雪で覆われている場所では、ロープや誘導ポールに従ってください。
- 登山道を管理している巡視員等の指導や指示に従ってください。
- 登山道内に融雪水や降雨水が流れている場所に置いても、登山道内を歩けるようにロングスパッツ等の準備をしましょう。

## ②登山道を傷つけませんー土壌を守るためストックにキャップを付けます



- 大雪山の土壌は火山噴出物に由来し脆弱であり、踏圧等の影響を受けやすいことから、登山する際は、影響が軽減されるよう配慮してください。
- 登山ストックを使用する際は必ずキャップを付け、登山道外に突かないようにしてください。
- 登山者同士がすれちがう際に、植生を踏んだり土壌を崩さないように注意してください。
- 登山道を走らないでください。

### ③テントは指定地で張ります —自然環境への影響を最小限におさえます



●無秩序な野営による、植生の荒廃やヒグマの誘因を防ぐため、野営は指定地を利用してください。

＜指定地＞黒岳、裏旭、白雲岳、忠別岳、ブヨ沼、ヒサゴ沼、  
トムラウシ南沼、沼ノ原大沼、前天狗、古天狗のコル、  
双子池、美瑛富士、上ホロカメットク

●指定地周辺の植生に踏み込まないでください。

●常設トイレがない場所では、携帯トイレを使用してください。

●たき火を行わないでください。

●ヒグマを誘因しないよう、野生動物にエサを与えないでください。

\* 野営指定地の説明については、「野営指定地について」を参照



#### ＜野営指定地について＞

大雪山国立公園の山岳地域における野営指定地は、登山による無秩序な野営が植生の破壊を引き起こしたり、ヒグマを誘因することを防ぐため、環境省、林野庁、北海道（道有林を含む）及び関係市町の合意として定めているもので、各機関が協力して野営指定地以外での野営の禁止を指導しています。

## ④携帯トイレを使おう —し尿とゴミはすべて持ち帰りましょう。



- 登山前にはトイレに行き、携帯トイレを持つようにしてください。
- トイレのない場所では携帯トイレを使用し、野外にし尿や紙を放置しないでください。
- 使い終わった携帯トイレは、登山口にある回収ボックスに捨ててください。

\*携帯トイレ使用の詳細については、「[携帯トイレの使い方・捨て方](#)」を参照



### <携帯トイレの使い方・捨て方>

#### 【使い方】

- ①袋の上部を切り取り線から切り取ります。切り取った部分は結び紐になります。
- ②便袋を取り出し、広げてから便座に被せ、用を足します。
- ③使用後は中の空気を抜いて、①で切り取った部分で、袋の口を結びます。
- ④チャック袋に入れてジッパーを閉じます。
- ⑤登山口にある専用の回収箱に捨てるか、家に持ち帰り処分をしてください。

#### 【捨て方】

大雪山国立公園内には層雲峡温泉、愛山溪温泉、大雪高原温泉、旭岳温泉、十六の沢登山口、幌加温泉登山口、トムラウシ登山口、白金温泉、望岳台、吹上温泉、十勝岳温泉に携帯トイレを捨てる回収BOXがあります。ただし、すべての登山口に回収BOXが設置されていないので、下山した登山口に回収BOXがない場合は自宅に持ち帰って処分してください。



## ⑤野生生物に配慮します —野生動物にエサを与えずペットは持ち込みません



- 植物や昆虫などの生きものを採らないでください。
- 野生動物の生態に影響を及ぼし、ヒグマを誘因する可能性があるため、野生動物にエサを与えないでください。
- 鳴き声、におい等が野生動物への脅威となり、ヒグマを興奮させてしまう危険性があるため、ペットを持ち込まないでください。
- 写真撮影のために野生動物に接近したり、追い回さないでください。

ヒグマ対応の詳細については、「ヒグマルール」を参照





## <ヒグマルール>

### 【ヒグマに出会わないために】

1. 入山前に事前情報を調べ、現地の監視員やビジターセンターなどからヒグマ情報を聞くなどし、その指示に素直に従うこと
2. ヒグマ対策には、絶対これで大丈夫というものはありません。事前の情報や登山中も周囲に気を配り、危険と思ったら登山計画を変更しましょう。
3. ヒグマとの突然の出会いを避けるため、鈴など音の出るものをつけて歩くこと。特にトレイルランニングの際は突発的にヒグマと出会う可能性が高いので十分に気をつけましょう。
4. ゴミ、残飯などを絶対に捨ててはいけません。ヒグマが人間の食べ物を学習し、人に近づく原因になります。必ず持ち帰りましょう。
5. ヒグマを興奮させないために、犬などをつれて入山してはいけません
6. 決められた食事の場所を守る。決められた場所（野営場、キャンプ指定地）で宿泊すること。

### 【ヒグマに出会ったら】

もしもヒグマに出会ったら、冷静沈着な対応が必要です。その時のヒグマとの距離・ヒグマの行動などにより、それぞれの状況は異なりますが、ヒグマに対して必要以上の驚きや恐怖を与える行動をしないことが大切です。このためには、次の点に注意を払い対応することが必要です。

1. 走って逃げてはいけません。ヒグマとの距離が相当ある場合は、冷静に相手の行動を見ながら退避することが大切です。
2. ヒグマとの距離が接近している場合、驚いて大声を出したり、物を投げつけるのは禁物です。
3. ヒグマとの距離が接近している場合、驚いて大声を出したり、物を投げつけるのは禁物です。
4. ヒグマが至近距離まで近づいてきたら、ヒグマ撃退スプレーを使うなどの行動が必要になります。
5. 小熊の付近には必ず親熊がいるので警戒が必要です。小熊に近づいたり、小熊を驚かせてはいけません。
6. ヒグマが立ち去った場合、その場からすばやく離れましょう。
7. ヒグマとの遭遇情報は、後の登山者に重要な情報となりますので、最寄りのビジターセンター・登山口の施設・森林管理署・環境省管理事務所などにご連絡ください。

# ＜参考例＞個別情報・普及啓発

## ○ドローンの使用について

1. ドローンを飛行させる前に、飛行予定地域を担当している森林管理署や北海道に申請をしてください。  
(飛行予定の7日以前に申請が必要な場合もあります。早めに準備をお願いします)
2. ドローンの飛行にかかる申請終了後、飛行予定地域を担当している環境省（大雪山国立公園管理事務所、東川管理官事務所、上士幌管理官事務所）にご連絡ください。
3. ドローンを飛行させる場合には、次のような影響が生じる可能性があることについて、ご注意ください。  
国立公園は多くの方々が様々なルールを守って利用する場所です。ドローンを飛行させることによってほかの公園利用者に迷惑をかけることや自然環境に悪影響を及ぼすことのないよう、十分なご配慮をお願いします。
  - ①自然景観への影響
    - ・国立公園内においてドローンの飛行により、騒音を発生させることは、開放的な空間、風などの自然の音、静けさ等の自然景観に悪影響を与えるほか、国立公園内でほかの利用者に対して不快の念を抱かせるおそれがあります。
    - ・ドローンが不時着した場合に回収をお願いしていますが、登山道外に不時着し、回収不可能な場合には、回収前に前記2. の環境省の担当事務所へ連絡をお願いします。
  - ②野生生物への影響
    - ・豊かな自然環境が保全されている国立公園には、様々な野生生物が生息・生育しており、我が国の生物多様性の保全上、極めて重要な地域です。このような地域でドローンを飛行させた場合、飛行の音に反応して、野生動物の本来の行動や生態を変えてしまうおそれがあります。また、ドローンで動物を追い回さないでください。
  - ③他の公園利用者への影響
    - ・国立公園は多くの方が利用しています。利用者の多い地域や時期は、何らかの理由でドローンが他の利用者に衝突し、大きな怪我をさせるおそれがあります。また、他の登山者の通行を妨げないよう、狭い登山道を占有しないようにしてください。
4. 国立公園内において、環境省職員がドローンの飛行を確認した際、操縦している方に声をかけさせていただく場合がありますので、ご承知おきください。

# 大雪山国立公園に関する情報

国立公園の一般ルール

(例) 「国立公園の利用上のマナー」 ゴミを捨てない、花や植物を採らないで下さい、野生動物に餌を与えないで下さい、歩行中禁煙、たき火は指定の場所で行いましょう

安全登山に関する情報

(例) 安全対策（登山装備の確認）、大雪山グレードに応じた登山利用、ヒグマ対策、気候・気象の情報、登山計画書の提出、入林簿への記載、

大雪山の保全のルール

①登山道を歩きます

- 植生及び土壌保護のため、し尿の排泄、休憩、写真撮影等のために登山道外に立ち入らないようにしましょう。
- 登山道が残雪で覆われている場所では、ロープや誘導ポールに従ってください。
- 登山道を管理している巡視員等の指導や指示に従ってください。

②登山道を傷つけません

- 登山ストックを使用する際は必ずキャップを付け、登山道外に突かないようにしてください。
- 大雪山の土壌は火山噴出物に由来し脆弱であり、踏圧等の影響を受けやすいことから、登山する際は、影響が軽減されるよう配慮してください。
- 登山者同士がすれちがう際に、植生を踏んだり土壌を崩さないように注意してください。
- 登山道内に融雪水や降雨水が流れている場所においても、登山道内を歩けるようにロングスパッツ等の準備をしましょう。
- 登山道を走らないでください。

③テントは指定地で張ります

- 無秩序な野営による、植生の荒廃やヒグマの誘因を防ぐため、野営は指定地を利用してください。
- 指定地周辺の植生に踏み込まないでください。
- 常設トイレがない場所では、携帯トイレを使用してください。
- たき火を行わないでください
- ヒグマを誘因しないよう、野生動物にエサを与えないでください。

④携帯トイレを使います

- 登山前にはトイレに行き、携帯トイレを持つようにしてください。
- トイレのない場所では携帯トイレを使用し、野外にし尿や紙を放置しないでください。
- 使い終わった携帯トイレは、登山口にある回収ボックスに捨ててください。

⑤野生動物に配慮します

- 植物や昆虫などの生きものを採らないでください。
- 野生動物の生態に影響を及ぼし、ヒグマを誘因する可能性があるため、野生動物にエサを与えないでください。
- 鳴き声、におい等が野生動物への脅威となり、ヒグマを興奮させてしまう危険性があるため、ペットを持ち込まないでください。
- 写真撮影のために野生動物に接近したり、追い回さないでください。

野営指定地について

携帯トイレの使い方・捨て方

「ヒグマルール」

個別情報・普及啓発

(例) 重要なお知らせ、各種利用情報、緊急情報、ドローンの使用、違法行為の防止（無許可による看板設置、伐採、損傷行為等）

## 令和 5 年度における歩道等再整備の予定について

大雪山国立公園管理事務所

令和 5 年度においては、中岳裾合平線歩道（R 3 年度設計）及び大雪山縦走線歩道（R 3～4 年度設計）を対象に、次の再整備を予定している。

### 1. 中岳裾合平線道路（歩道）改修工事

#### ■概 要

当該歩道については、平成 25 年に中岳分岐から中岳温泉区間を整備したが、その後、一部で侵食が進み拡幅・複線化などの荒廃が見られることから、土壌及び高山植生を保全するための登山道改修工事を 2 箇年かけて実施予定。

整備内容は、導流工（登山道上に流れる水を早期に排水する施設）や床止工（登山道から流れる土砂を受け止め侵食を抑制する施設）を基本とし、施工は、植生のない裸地部分を中心に侵食防止及び植生保護を目的に行うこととし、沿線の自然の改変を極力避けるよう配慮する。

#### ■工事区間

L=701m（令和 5 年度工事 L=340m、令和 6 年度工事（予定） L=360m）

#### ■工事内容

別紙 1 を参照

#### ■工 期

令和 5 年 6 月～9 月



中岳裾合平線

### 2. 大雪山国立公園大雪山縦走線道路（歩道）保全修復工事

■概 要：本年度は、R 3 年度に実施設計を行った区間（白雲岳避難小屋～五色岳区間（上川町管内））及び R 4 年度に設計を実施したヒサゴ沼周辺区間（新得町管内）において、登山道保全修復工事を予定している。なお、五色岳～化雲岳区間については、令和 5 年度に実施設計を予定。

#### ① 白雲岳避難小屋～五色岳区間（上川町管内）

木道工（木道 63 基、待避所 3）、標識工 4 基、木柵床止工 1 箇所

#### ② ヒサゴ沼周辺区間（新得町管内）

木道工（幅 500mm タイプ 81 基、幅 250mm タイプ 25 基）、標識工 1 基、床止・法止工（マキセル工）44 基、分散排水工（マキセル工）36 基、土嚢床止工 22 袋、木柵階段補修工 187 基、ロープ柵工 591m

■工 期：令和5年7月～9月

■設計概要及びデザイン：別紙2—①、別紙2—②を参照



白雲岳避難小屋～五色岳区間（上川町管内）



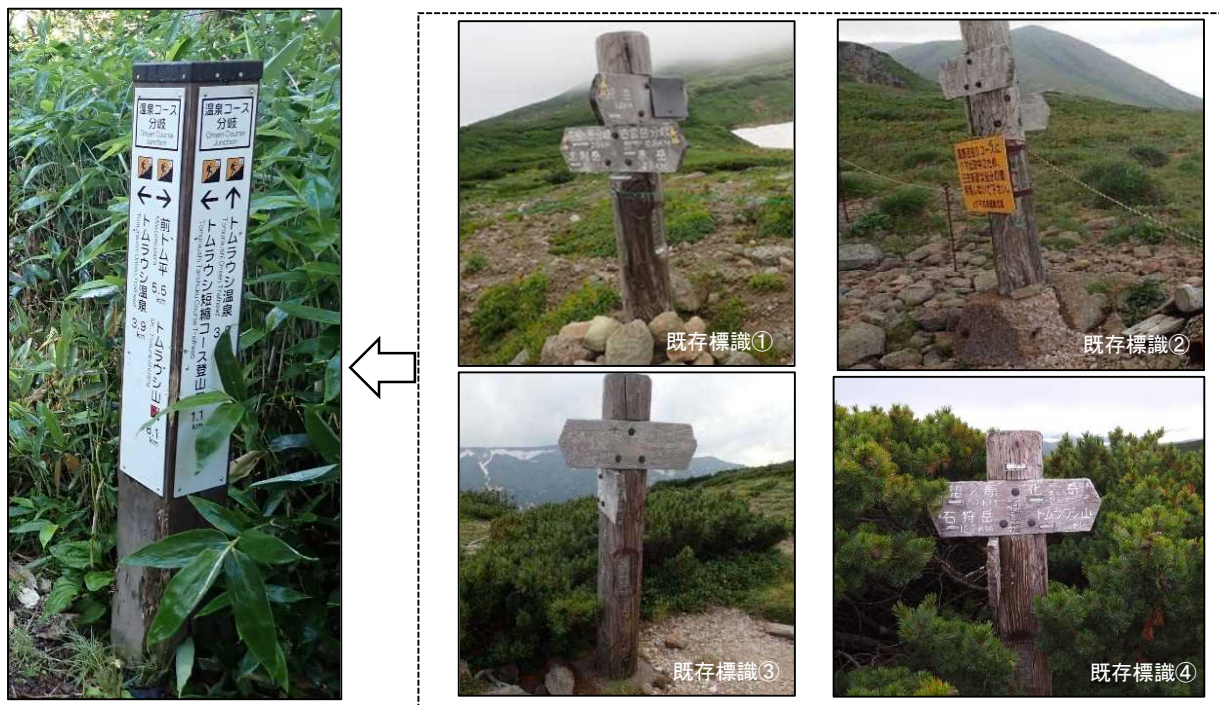
ヒサゴ沼周辺区間（新得町管内）

<ご意見いただきたい事項>

今回工事のうち、標識の表示項目やデザインについては、関係機関等への意見聴取を行ったうえで最終決定することとしている。

以下について、ご意見いただきたい。

- ・「記載内容（掲載情報、表示項目）」に過不足がないか。
- ・「距離情報」は H27 設計情報流用したものだが、この距離情報でよいか。
- ※ ただし、「基本デザイン」及び「構造」については、H27 時の設計にて、今後大雪山はこのデザインで統一して再整備していくということを関係者合意で決定されており、その合意に基づき構造計算しているため、大幅な変更はできない。
- ※ 新たな構造での再考となる場合は、構造計算などをやり直す必要があり、標識工事の発注は見送りとなる。



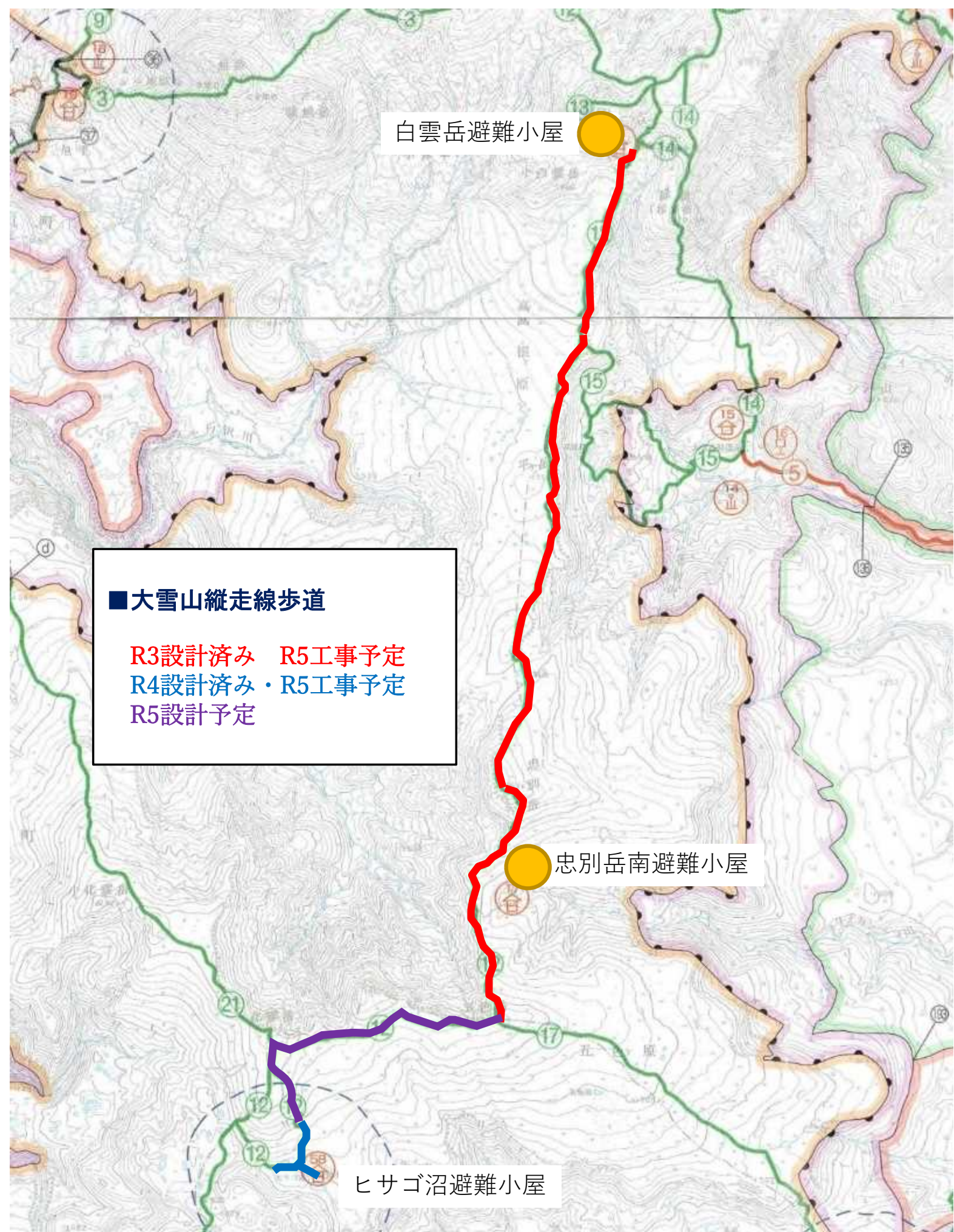
〔誘導標識の設置例〕

〔現状の標識〕

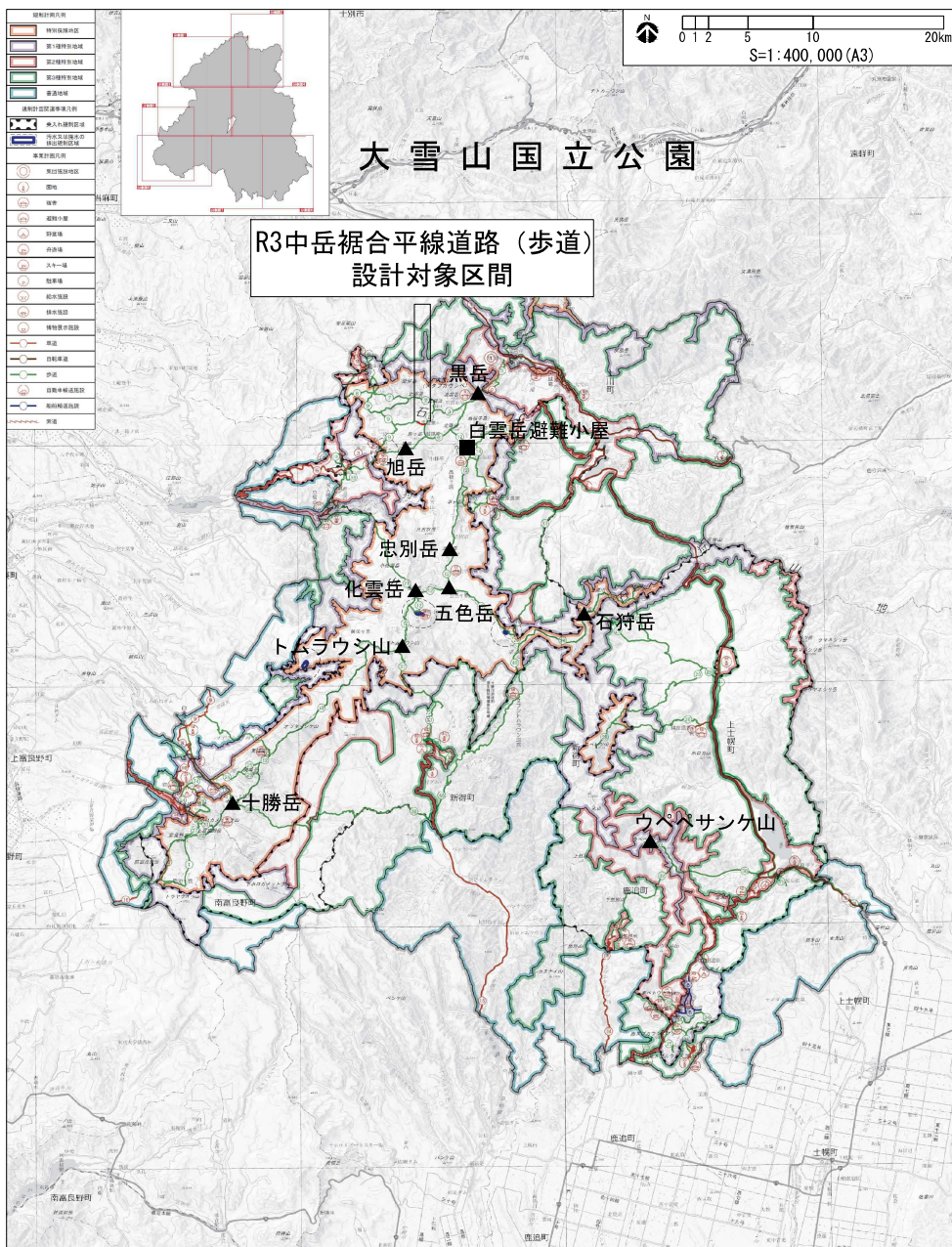
タイプ・構造	選定理由
標柱タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大雪山国立公園内は複数の登山ルートがある</li> <li>・ 行先や目的が力量に応じて様々である</li> <li>・ 情報量を多く表示できる</li> </ul>
単管基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単管基礎とスパイラル基礎の現地試験施工において、単管基礎の方が現地での試し打ちや途中の切断が容易であった</li> <li>・ 施工時の位置変更への柔軟な対応にも可能である</li> </ul>

出典)「平成 28 年度大雪山国立公園登山道(表大雪地域)標識実施設計修正業務報告書(平成 29 年 2 月)」より引用

大雪山縦走線歩道等における直轄整備計画全体 位置図







出典：本図の背景図は『環境省 大雪山国立公園区域及び公園計画図(全体図) S=1:100,000』を使用しています。

位置図 (大雪山国立公園全体)

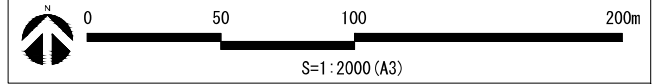


出典：本図の背景図は『国土地理院 地理院地図 電子地形図25000』を使用しています。

位置図

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(繰越)大雪山国立公園中岳裾合平線道経(歩道)改修工事		
図面名称	位置図	種別	図示
年月日	令和5年月	図面番号	1 / 22
会社名	株式会社	種別	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所		

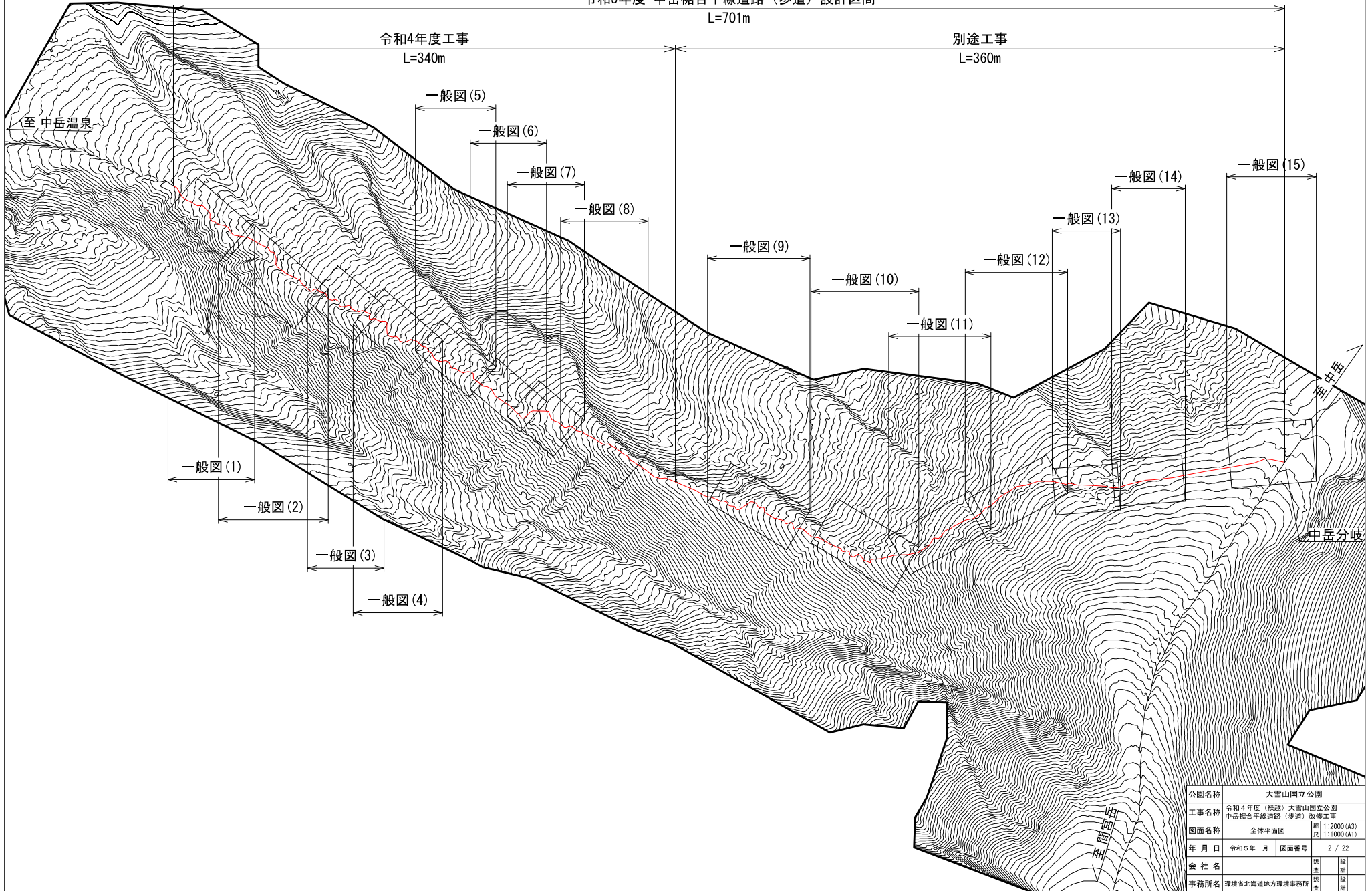
# 全体平面図



令和3年度 中岳裾合平線道路（歩道）設計区間  
L=701m

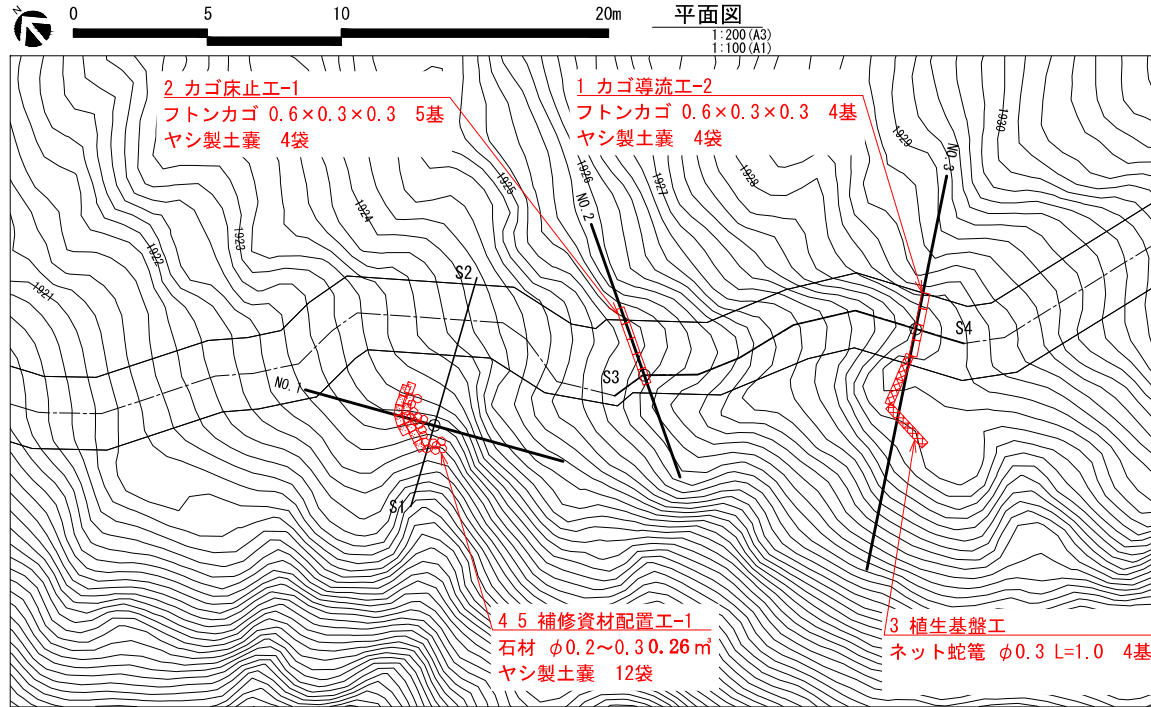
令和4年度工事  
L=340m

別途工事  
L=360m



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度（補修）大雪山国立公園 中岳裾合平線道路（歩道）改修工事		
図面名称	全体平面図	図 1: 2000 (A3)	尺 1: 1000 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	2 / 22
会社名		種	図
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種	図

# 一般図(1)

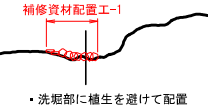


## 標準断面図

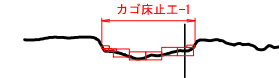
1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。

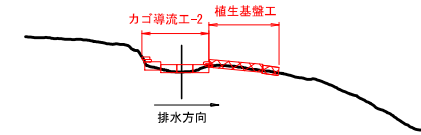
No. 1  
GH=1922.75



No. 2  
GH=1925.51



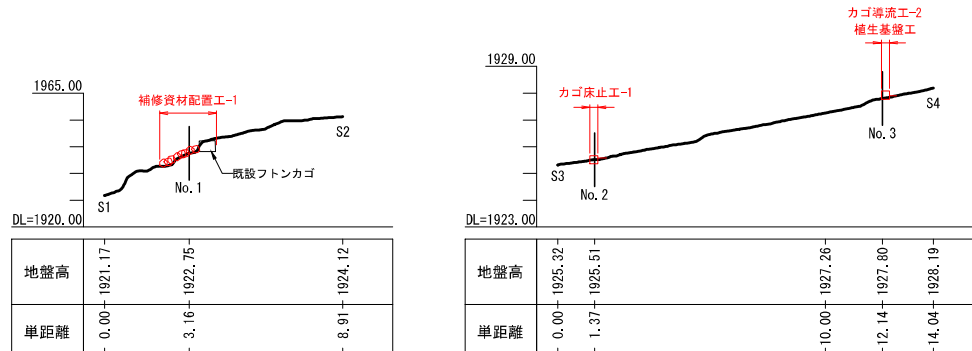
No. 3  
GH=1927.80



・カゴ導流工の高さは排水側の地盤よりも高く設置する。

## 縦断面図

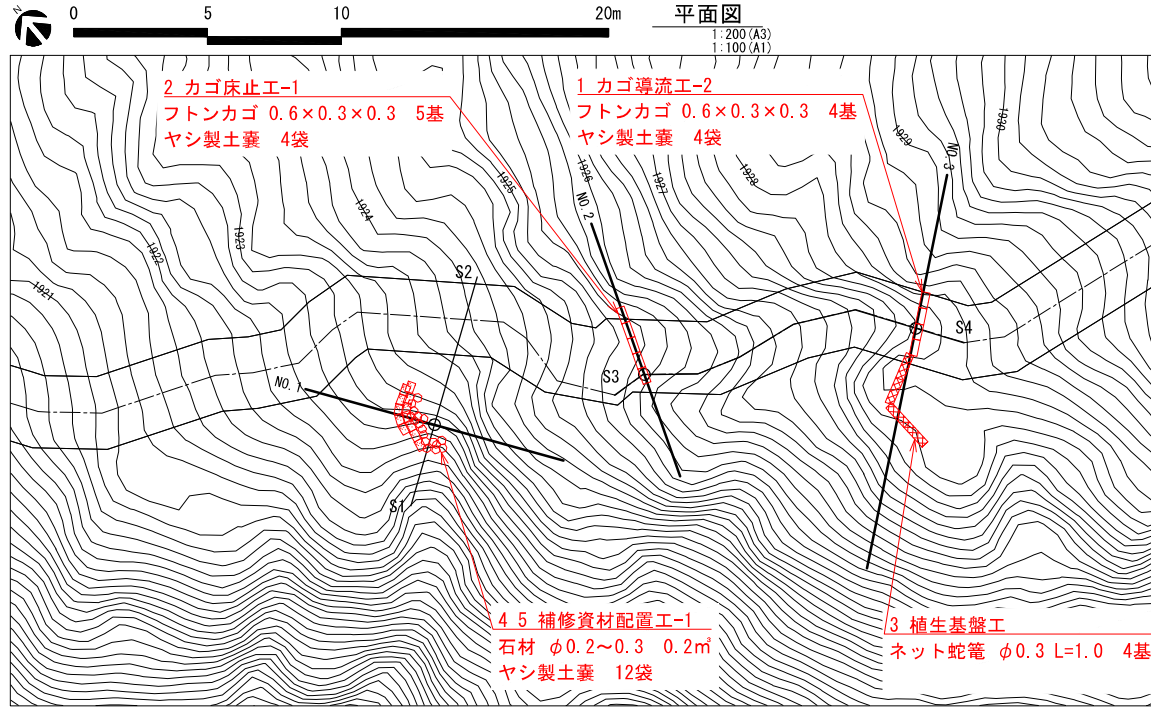
1:200 (A3)  
1:100 (A1)



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(繰越)大雪山国立公園 中岳箱合平越道(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(1)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	3 / 22
会社名		種別	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種別	監査

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

# 一般図(1)

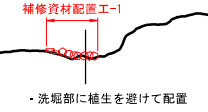


## 標準断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。

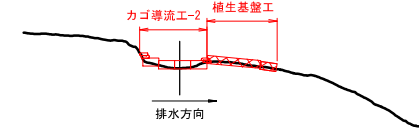
**No. 1**  
GH=1922.75



**No. 2**  
GH=1925.51



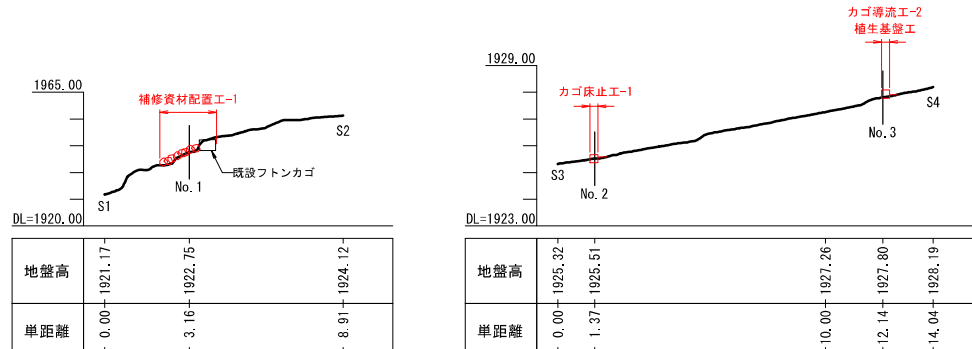
**No. 3**  
GH=1927.80



・カゴ導流工の高さは排水側の地盤より高く設置する。

## 縦断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)



※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

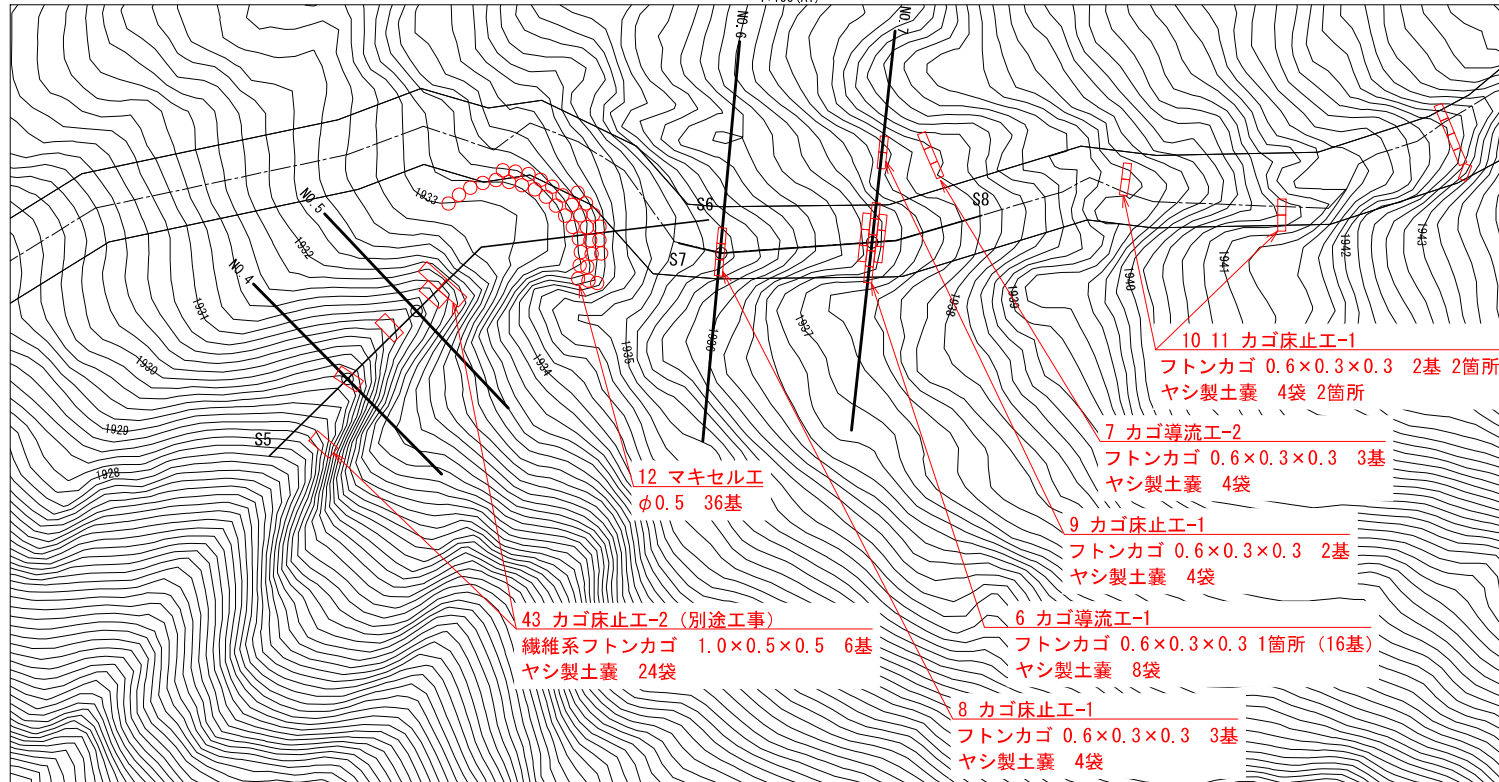
公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(繰越)大雪山国立公園 中岳総合平線道路(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(1)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	3 / 22
会社名		種別	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種別	設計

# 一般図(2)



平面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)

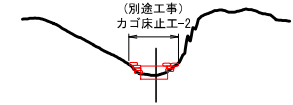


標準断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。

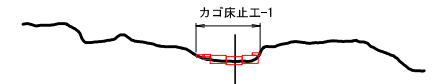
No. 4  
GH=1929.45



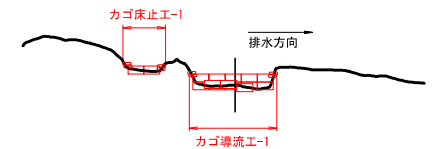
No. 5  
GH=1931.05



No. 6  
GH=1935.29



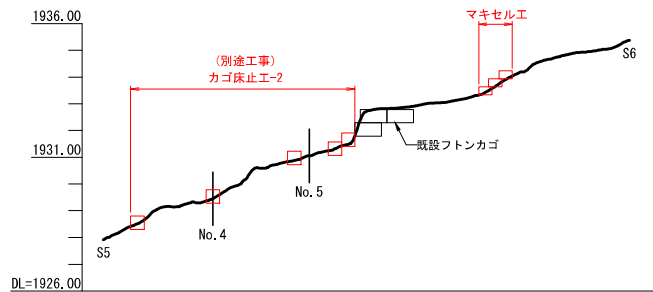
No. 7  
GH=1936.76



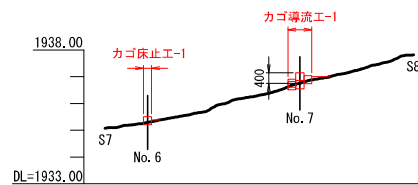
- ・側面にはヤシ製土嚢を隙間なく設置し、水漏れを防ぐ。
- ・カゴ導流工の中心の高さは地盤から400mm程度とする。

縦断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)



地盤高	1927.92	1929.45	1931.05	1932.76	1935.37
単距離	0.00	4.09	7.71	10.00	19.67

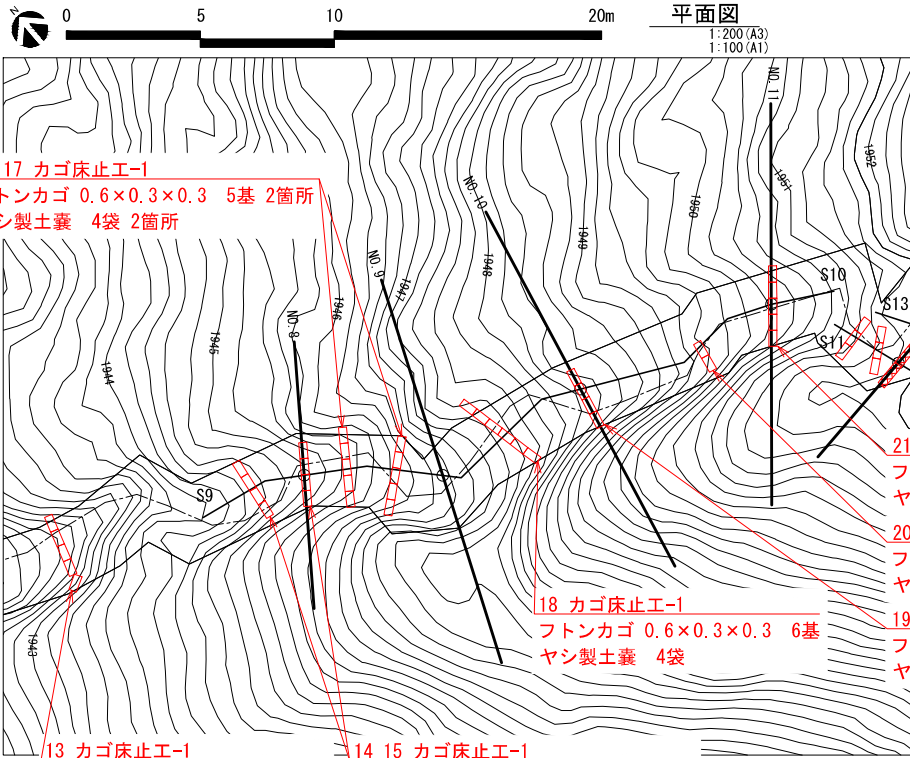


地盤高	1935.08	1935.29	1936.76	1937.43	1937.82
単距離	0.00	1.59	7.28	10.00	11.53

公園名称	大雪山国立公園				
工事名称	令和4年度(繰越)大雪山国立公園 中岳箱合平線遊経(歩道)改修工事				
図面名称	一般図(2)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)	図番	4 / 22
年月日	令和5年 月	図面番号	4 / 22		
会社名	株式会社	種別	設計	監理	
事務所名	環境省北海道地方環境事務所				

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

# 一般図(3)



16 17 カゴ床止工-1  
フトンカゴ 0.6×0.3×0.3 5基 2箇所  
ヤシ製土嚢 4袋 2箇所

21 カゴ床止工-1  
フトンカゴ 0.6×0.3×0.3 5基  
ヤシ製土嚢 4袋

20 カゴ床止工-1  
フトンカゴ 0.6×0.3×0.3 2基  
ヤシ製土嚢 4袋

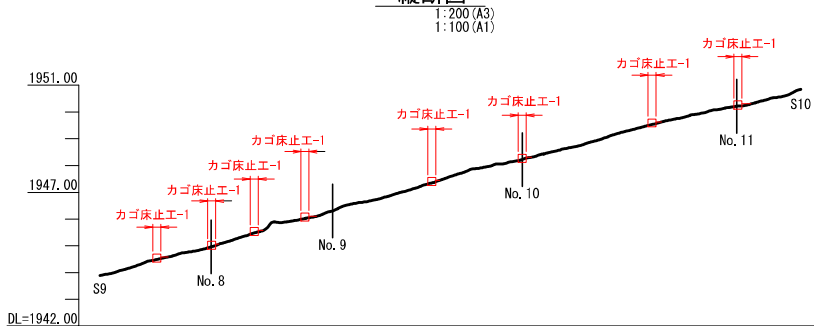
18 カゴ床止工-1  
フトンカゴ 0.6×0.3×0.3 6基  
ヤシ製土嚢 4袋

19 カゴ床止工-1  
フトンカゴ 0.6×0.3×0.3 4基  
ヤシ製土嚢 4袋

13 カゴ床止工-1  
フトンカゴ 0.6×0.3×0.3 5基  
ヤシ製土嚢 4袋

14 15 カゴ床止工-1  
フトンカゴ 0.6×0.3×0.3 4基 2箇所  
ヤシ製土嚢 4袋 2箇所

## 縦断面図



地盤高	1943.89	1944.96	1946.31	1946.66	1948.22	1949.37	1950.22	1950.85
単距離	0.00	4.16	8.70	10.00	15.70	20.00	23.82	26.21

## 標準断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。

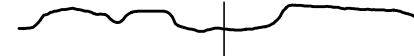
### No. 8

GH=1944.96



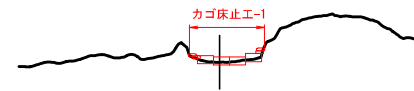
### No. 9

GH=1946.31



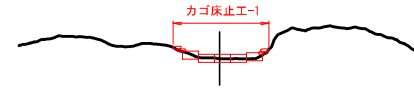
### No. 10

GH=1948.22



### No. 11

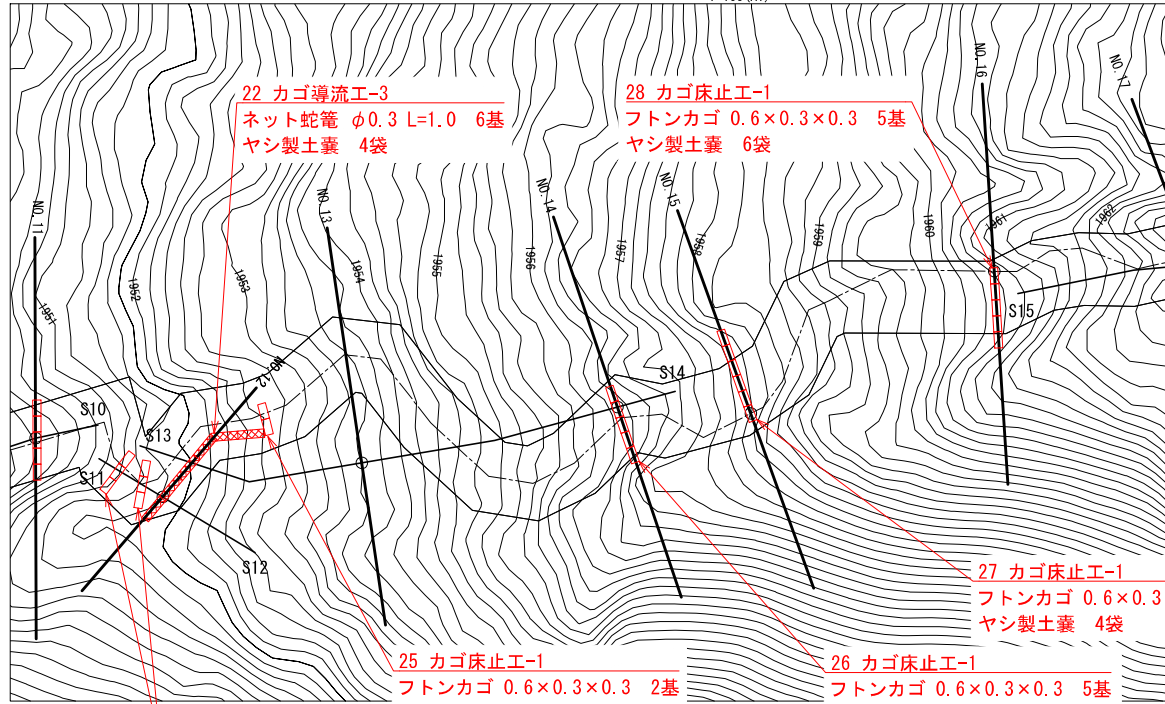
GH=1950.22



※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(補修)大雪山国立公園 中岳総合平標道経(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(3)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	5 / 22
会社名		種類	図
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種類	図

# 一般図(4)



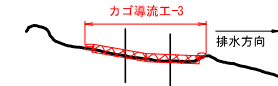
## 標準断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。

### No. 12

GH=1951.62



- ・側面にはヤシ製土嚢を隙間なく設置し、水漏れを防ぐ。
- ・カゴ導流工の高さは排水側の地盤よりも高く設置する。

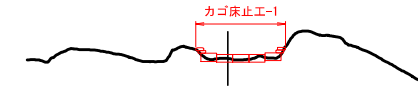
### No. 13

GH=1953.61



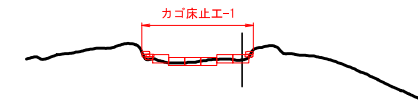
### No. 14

GH=1956.30



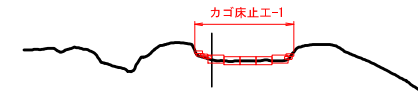
### No. 15

GH=1957.74



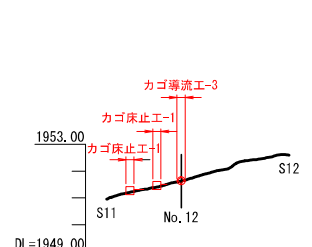
### No. 16

GH=1960.56

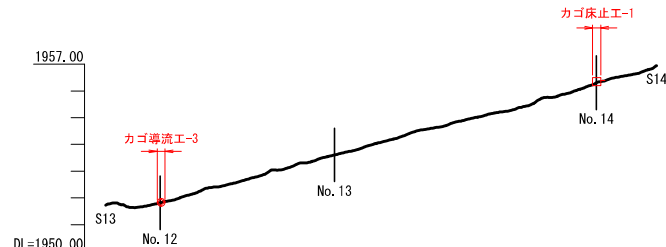


## 縦断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)



地盤高	1950.95	1951.62	1952.60
単距離	0.00	2.78	6.82

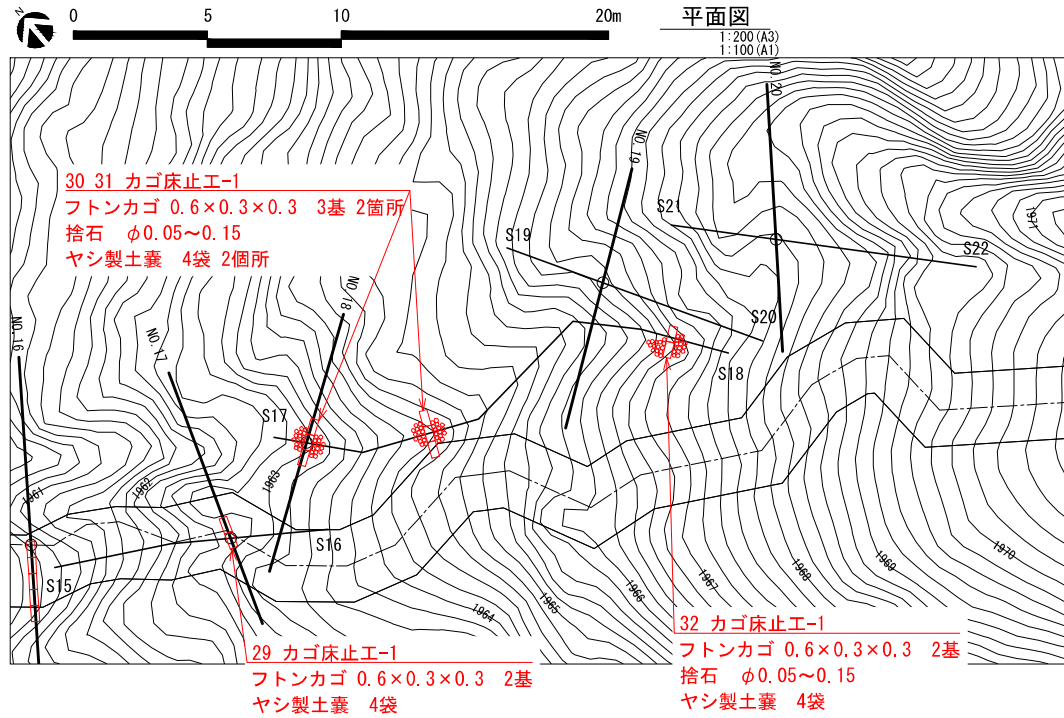


地盤高	0.00	1951.81	1953.61	1954.00	1956.30	1956.68	1956.95
単距離	0.00	2.04	8.56	10.00	18.36	20.00	20.80

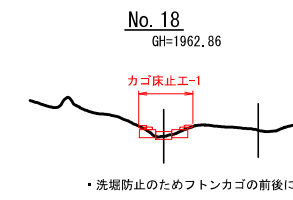
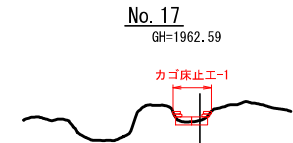
※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(繰越)大雪山国立公園 中岳箱合平標道経(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(4)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	6 / 22
会社名		種類	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種別	設計

# 一般図(5)



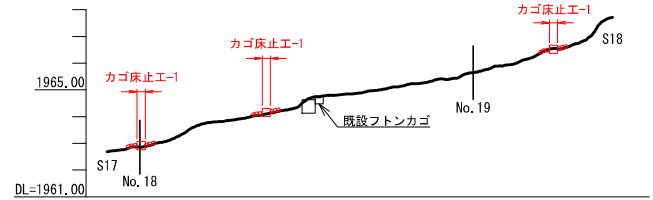
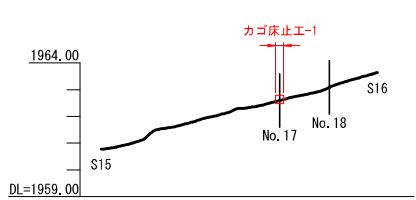
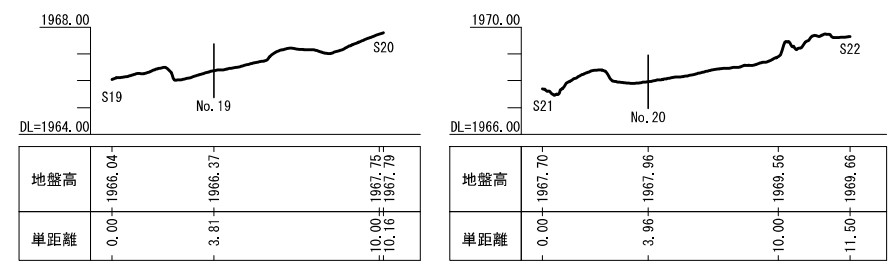
**標準断面図**  
1:200 (A3)  
1:100 (A1)  
※写真測量による断面図である。



**No. 19**  
GH=1966.37

**No. 20**  
GH=1967.96

**縦断面図**  
1:200 (A3)  
1:100 (A1)



地盤高	1960.77	1962.59	1963.08	1963.54	1963.64
単距離	0.00	6.67	8.53	10.00	10.33

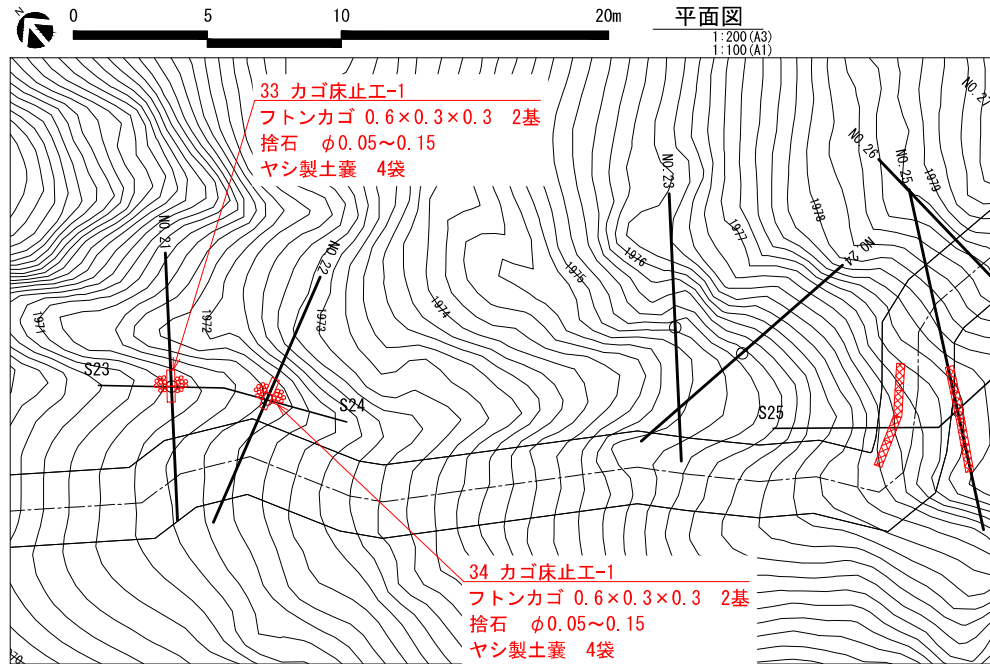
地盤高	1962.69	1962.86	1964.98	1965.65	1967.71
単距離	0.00	1.23	10.00	13.68	18.90

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(繰越)大雪山国立公園 中岳箱合平線道(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(5)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	7 / 22
会社名	株式会社	種別	概算
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種別	概算



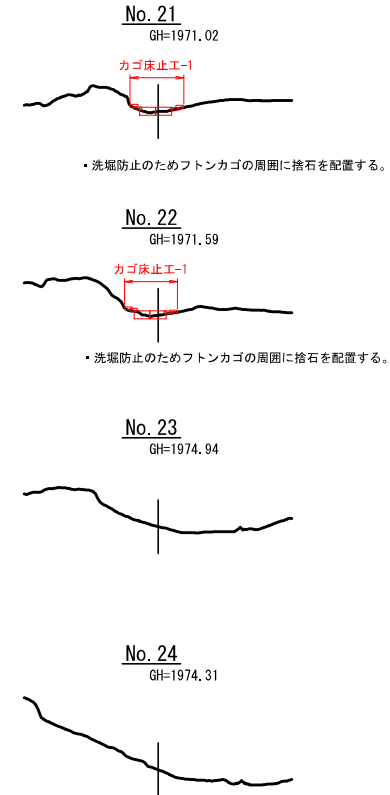
# 一般図(6)



## 標準断面図

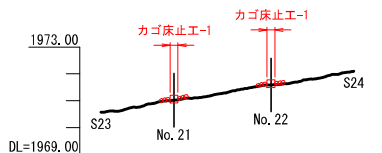
1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。



## 縦断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)

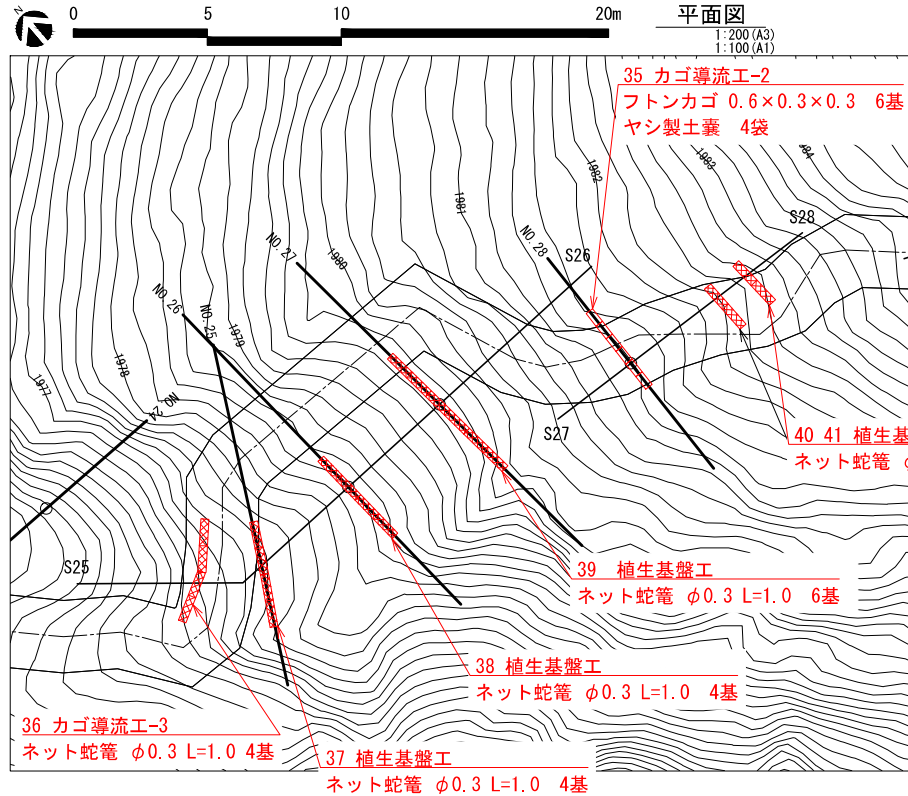


地盤高	0.00	2.73	6.36	9.46
単距離	0.00	2.73	6.36	9.46

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(繰越)大雪山国立公園 中岳箱合平標道経(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(6)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	8 / 22
会社名		種類	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	業種	設計

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

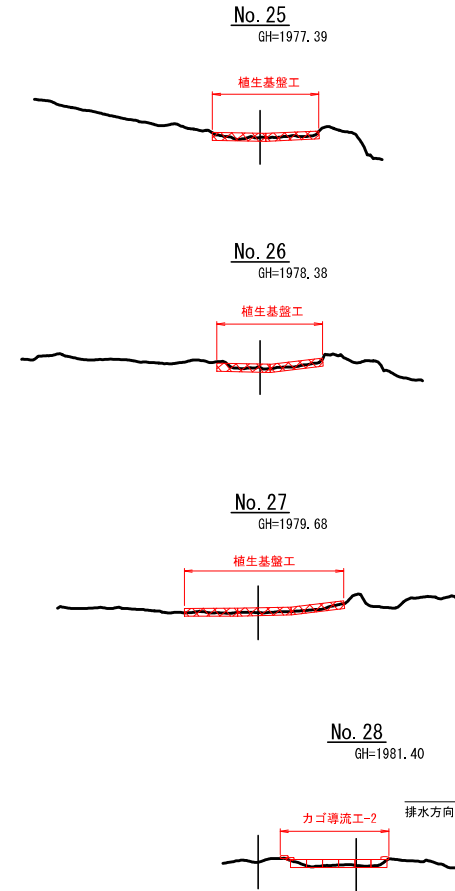
# 一般図(7)



## 標準断面図

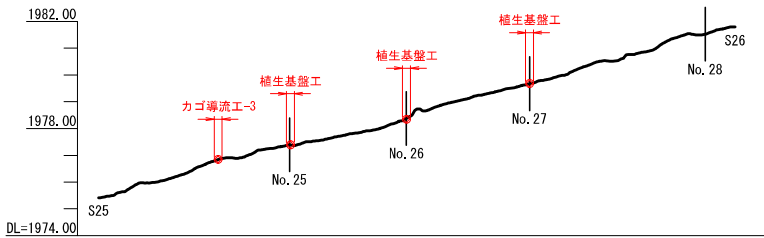
1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。

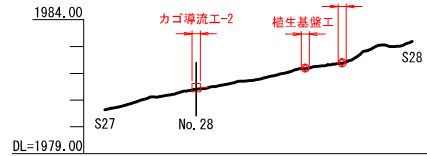


## 縦断面

1:200 (A3)  
1:100 (A1)



地盤高	1975.40	1977.39	1977.91	1978.38	1979.68	1980.76	1981.52	1981.80
単距離	0.00	7.14	10.00	11.51	16.11	20.00	22.69	23.80



地盤高	1980.64	1981.40	1982.93	1983.19
単距離	0.00	3.42	10.00	11.49

## No. 28

GH=1981.40

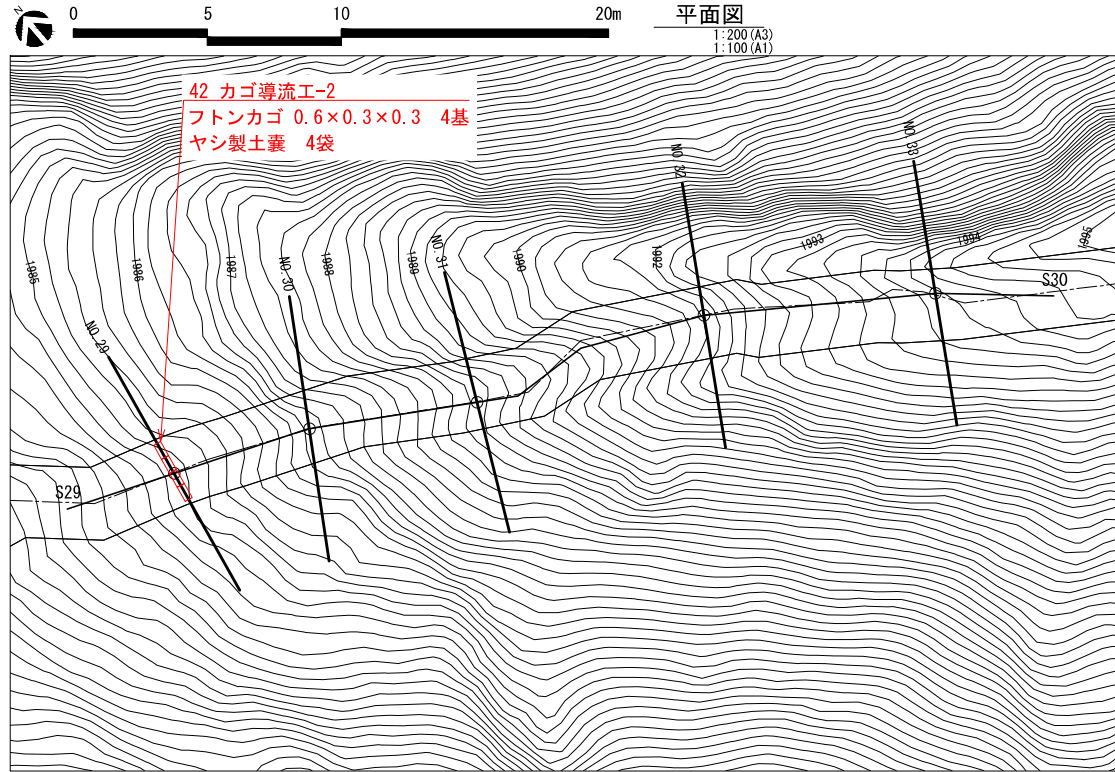


- ・側面にはヤシ製土嚢を隙間なく設置し、水漏れを防ぐ。
- ・カゴ導流工の高さは排水側の地盤よりも高く設置する。

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(補修)大雪山国立公園 中岳箱合平線道経(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(7)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	9 / 22
会社名		種別	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種別	設計

# 一般図(8)



## 標準断面図

1:200 (A3)  
1:100 (A1)

※写真測量による断面図である。

### No. 29

GH=1984.90

カゴ導流工-2

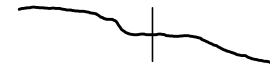
排水方向



- ・側面にはヤシ製土嚢を隙間なく設置し、水漏れを防ぐ。
- ・カゴ導流工の高さは排水側の地盤よりも高く設置する。

### No. 30

GH=1986.52



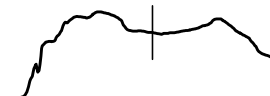
### No. 31

GH=1988.25



### No. 32

GH=1990.83



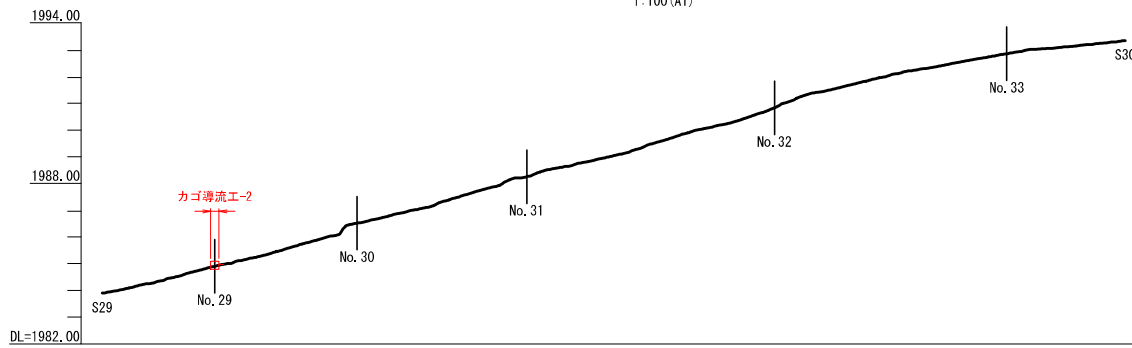
### No. 33

GH=1992.85



## 縦断面図

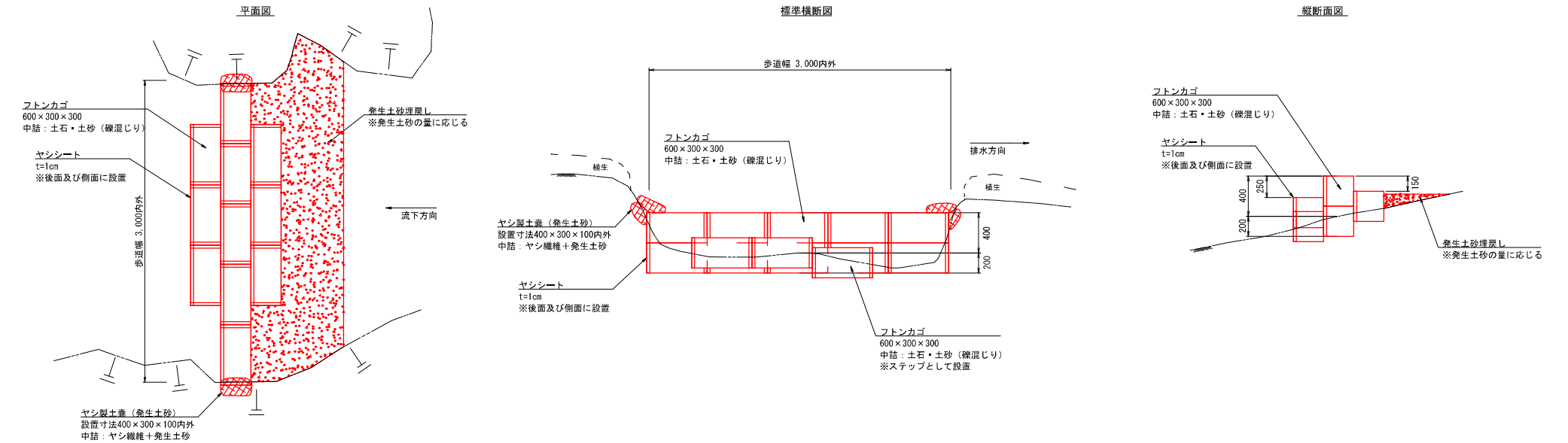
1:200 (A3)  
1:100 (A1)



地盤高	1983.90	1984.90	1986.52	1988.25	1989.28	1990.83	1992.18	1992.85	1993.34
単距離	0.00	4.20	9.53	10.00	15.87	20.00	25.13	30.00	33.83

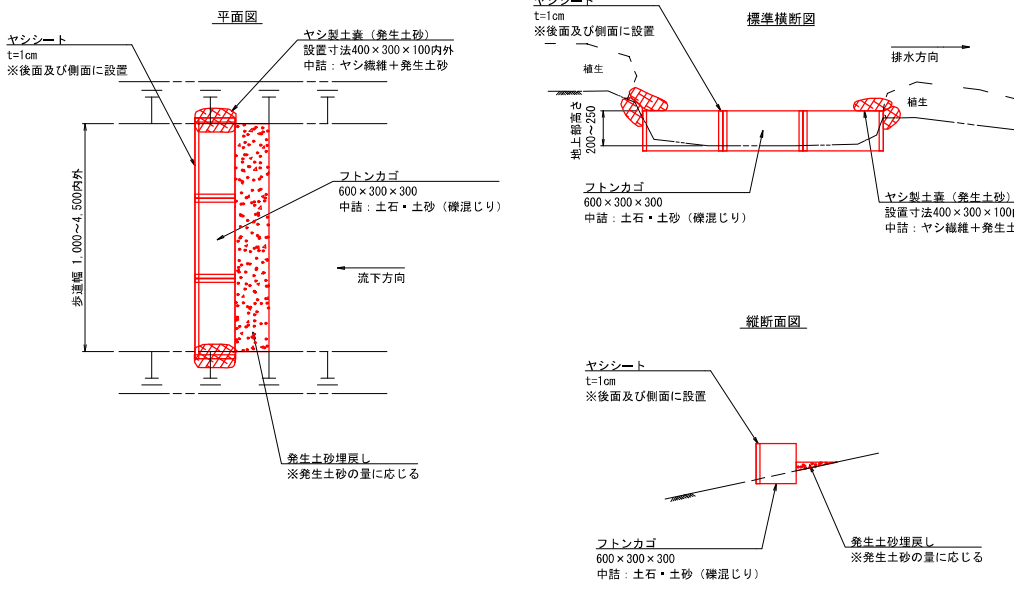
公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(補修)大雪山国立公園 中岳箱合平標道経(歩道)改修工事		
図面名称	一般図(8)	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和5年 月	図面番号	10 / 22
会社名		種類	図
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	種類	図

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。



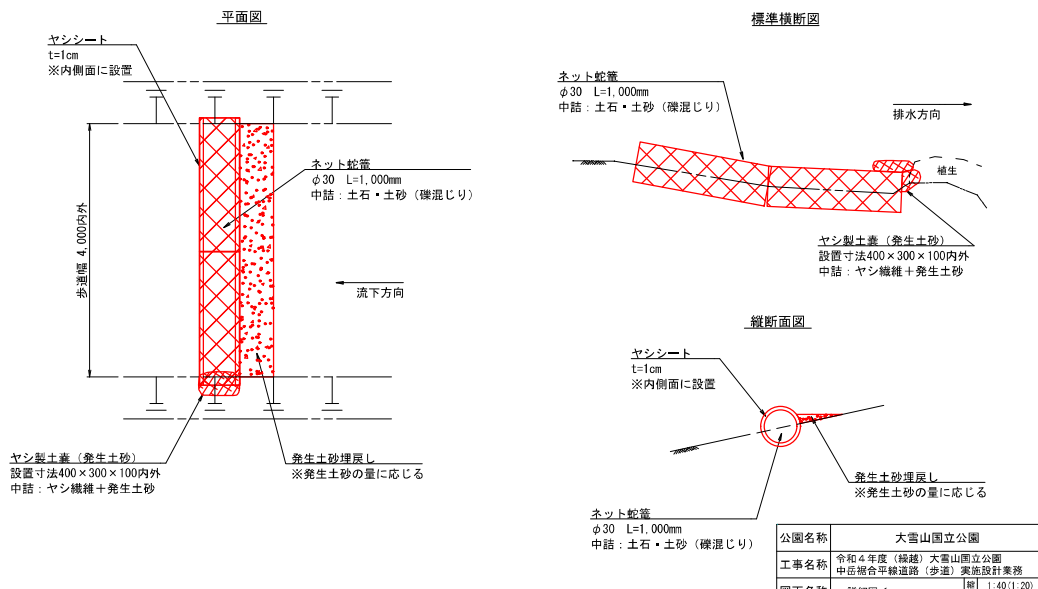
◎側面にはヤシ製土蓋を隙間なく設置し、水漏れを防ぐ。  
 ◎ヤシシートをフトンカゴの後面および側面に設置する。  
 ◎中央列のフトンカゴは1段目を最大200mm埋め、その上に2段目のフトンカゴを設置する。  
 ◎フトンカゴ設置の埋めによる発生土砂は、ヤシ製土蓋の中詰および導流工の上部の歩道に埋め戻す。  
 ◎地上部分の高さは中央部で400mm程度とする。

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。



◎側面にはヤシ製土蓋を隙間なく設置し、水漏れを防ぐ。  
 ◎カゴ導流工の高さは排水側の地盤よりも高く設定する。  
 ◎ヤシシートをフトンカゴの後面および側面に設置する。  
 ◎フトンカゴ設置の埋めによる発生土砂は、ヤシ製土蓋の中詰および導流工の上部の歩道に埋め戻す。  
 ◎地中に埋める深さは50mm~100mm、地上部分の高さは250mm~200mmとする。

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。



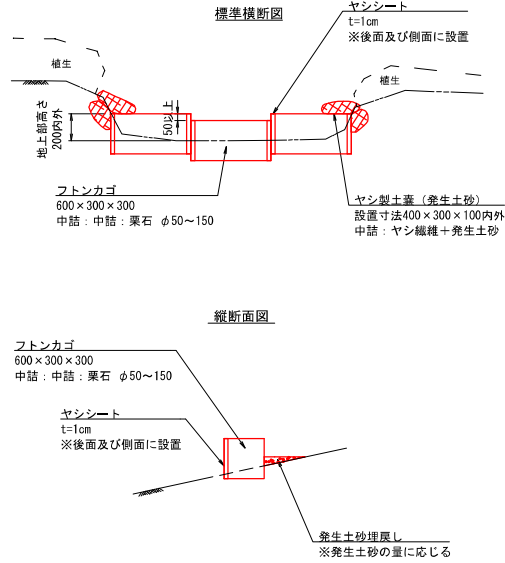
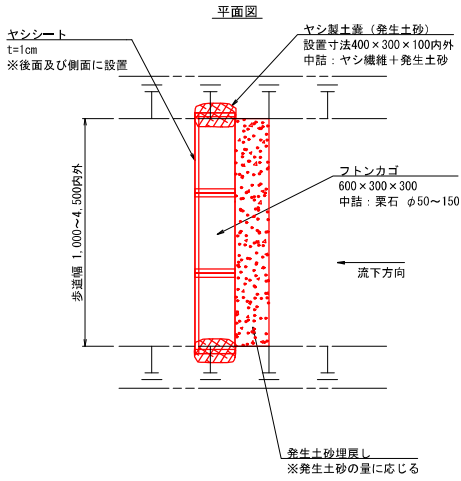
◎φ1,000mmの円筒形のネット蛇籠を外れないように連結して使用する。  
 ◎側面には必要に応じてヤシ製土蓋を隙間なく設置し、水漏れを防ぐ。  
 ◎導流工の高さは排水側の地盤よりも高く設定する。  
 ◎ヤシシートをネット蛇籠の内側面に設置する。  
 ◎導流工設置の埋めによる発生土砂は、ヤシ製土蓋の中詰および導流工の上部の歩道に埋め戻す。  
 ◎地中に埋める深さは150mm以内、地上部分の高さは150mm内外とする。

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度(補給)大雪山国立公園 中岳総合歩道(歩道)実施設計業務		
図面名称	詳細図-1	縮尺	1:40(1:20) 尺(1)はA様大時
年月日	令和5年 月	図面番号	11 / 22
会社名	有限会社	図	監
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	製	出

カゴ床止工-1

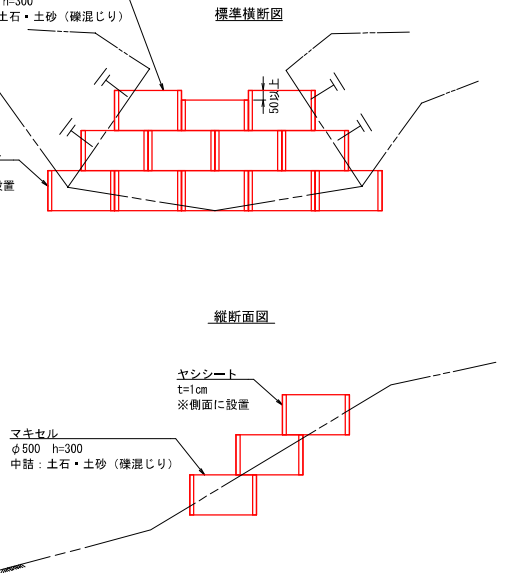
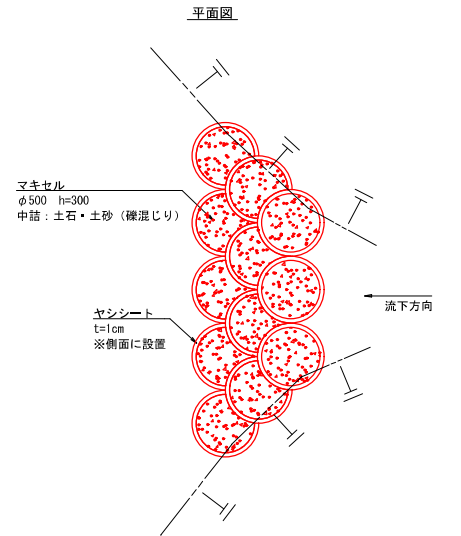
S=1:40 (1:20)



- 側面にはヤシ製土蓋を隙間なく設置し、側面の浸食を予防する。
  - フトンカゴ設置の掘削による発生土砂は、ヤシ製土蓋の中詰および防止工の上歩歩道に埋め戻す。
  - ヤシシートをフトンカゴの後面および側面に設置する。
  - 地中に埋める深さは100mm内外、地上部分の高さは200mm内外とする。
  - 中央部のフトンカゴは両脇のフトンカゴより50mm以上低く設置する。
  - 歩道の洗掘箇所を設置する場合は、周囲に捨石を設置し、浸食を予防する。
- ※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

マキセル工

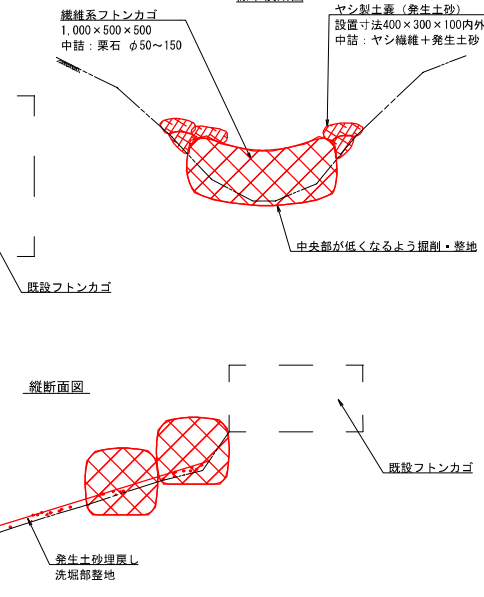
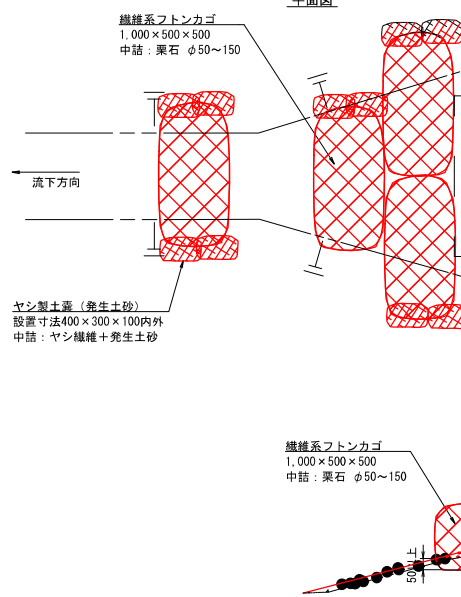
S=1:40 (1:20)



- ヤシシートをマキセルの内側の側面に設置する。
  - マキセルが水平に設置できるよう、斜面を掘削して設置する。
  - 上部の中央部分は5~10cm低く設置する。
  - 
  -
- ※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

カゴ床止工-2

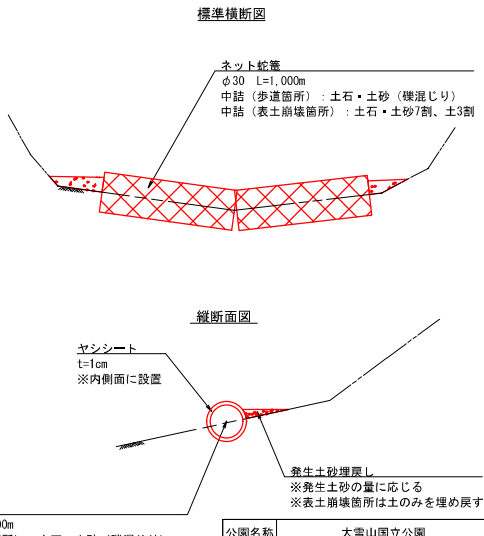
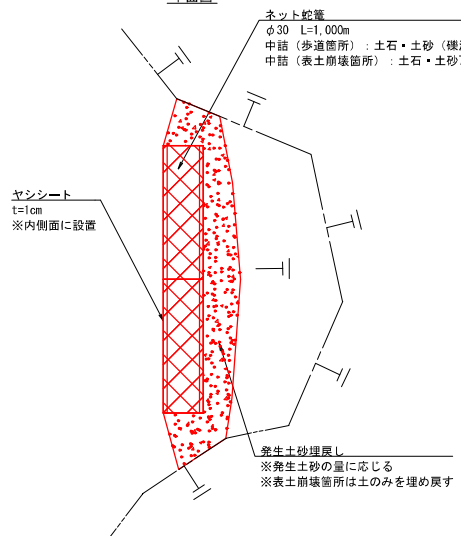
S=1:40 (1:20)



- 側面にはヤシ製土蓋を隙間なく設置し、側面の浸食を予防する。
  - フトンカゴ設置の掘削による発生土砂は、ヤシ製土蓋の中詰および洗掘部に埋め戻す。
  - 前面部が50mm程度埋まるように設置する。
  - 繊維系フトンカゴは、両端となる中央部が低くなるように整地して設置する。
  - 設置のための掘削はできる限り掘削し、斜面の掘削を最小限にする。
- ※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

植生基盤工

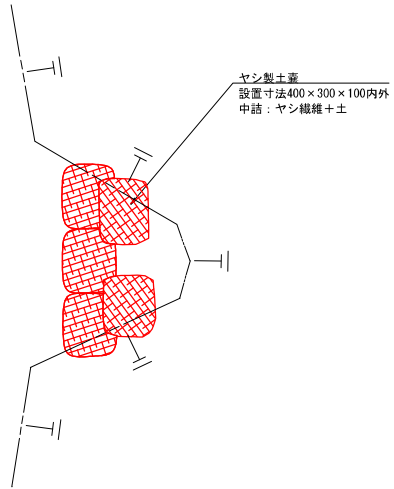
S=1:40 (1:20)



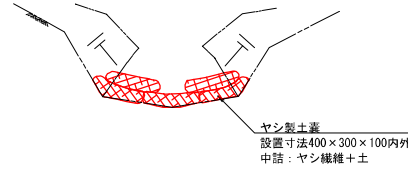
- L=1,000の円筒形のネット蛇籠を外れないように連結して使用する。
  - ヤシシートをネット蛇籠の内側面に設置する。
  - 湧流工設置の掘削による発生土砂は植生基盤工の上部に埋め戻す。
  - 地中に埋める深さは150mm内外、地上部分の高さは150mm内外とする。
  - 
  -
- ※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

公園名称	大雪山国立公園	
工事名称	令和4年度(補給)大雪山国立公園 中岳総合平線道路(歩道)実施設計業務	
図面名称	詳細図-1	図 1:40(1:20) 区( )はA様大時
年月日	令和5年 月	図面番号 12 / 22
会社名	株式会社ニューエック	図 概 説
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	図 概 説

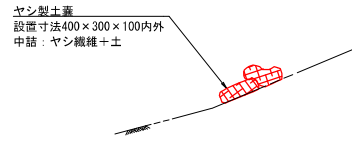
平面図



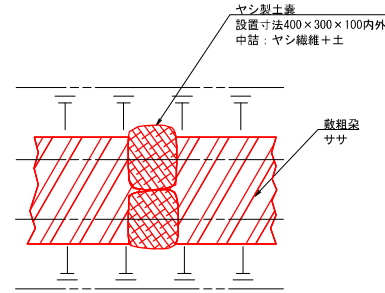
標準横断面図



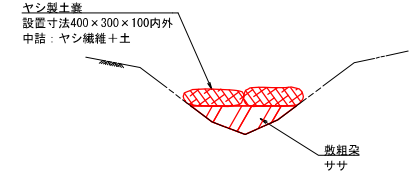
縦断面図



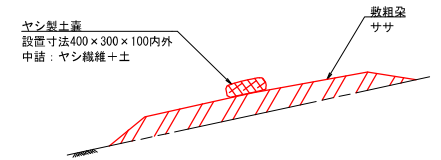
平面図



横断面図



縦断面図



- 中詰め材は土とし、機等を入れないようにする。
- ヤシ繊維と土を交互に詰める。
- 土籠の隅から浸食が進まないよう、斜面と土籠の間に隙間を開けないように設置する。
- 土籠は中央部が低くなるように設置する。
- 

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

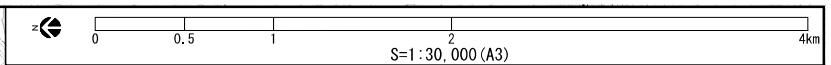
- 敷粗築（ササ）は浸食部が埋まる程度投入する。
- 中詰め材は土とし、機等を入れないようにする。
- ヤシ繊維と土を交互に詰める。
- 
- 

※図面は標準図であり、現地の地形状況等に適した形で配置、施工を行う。

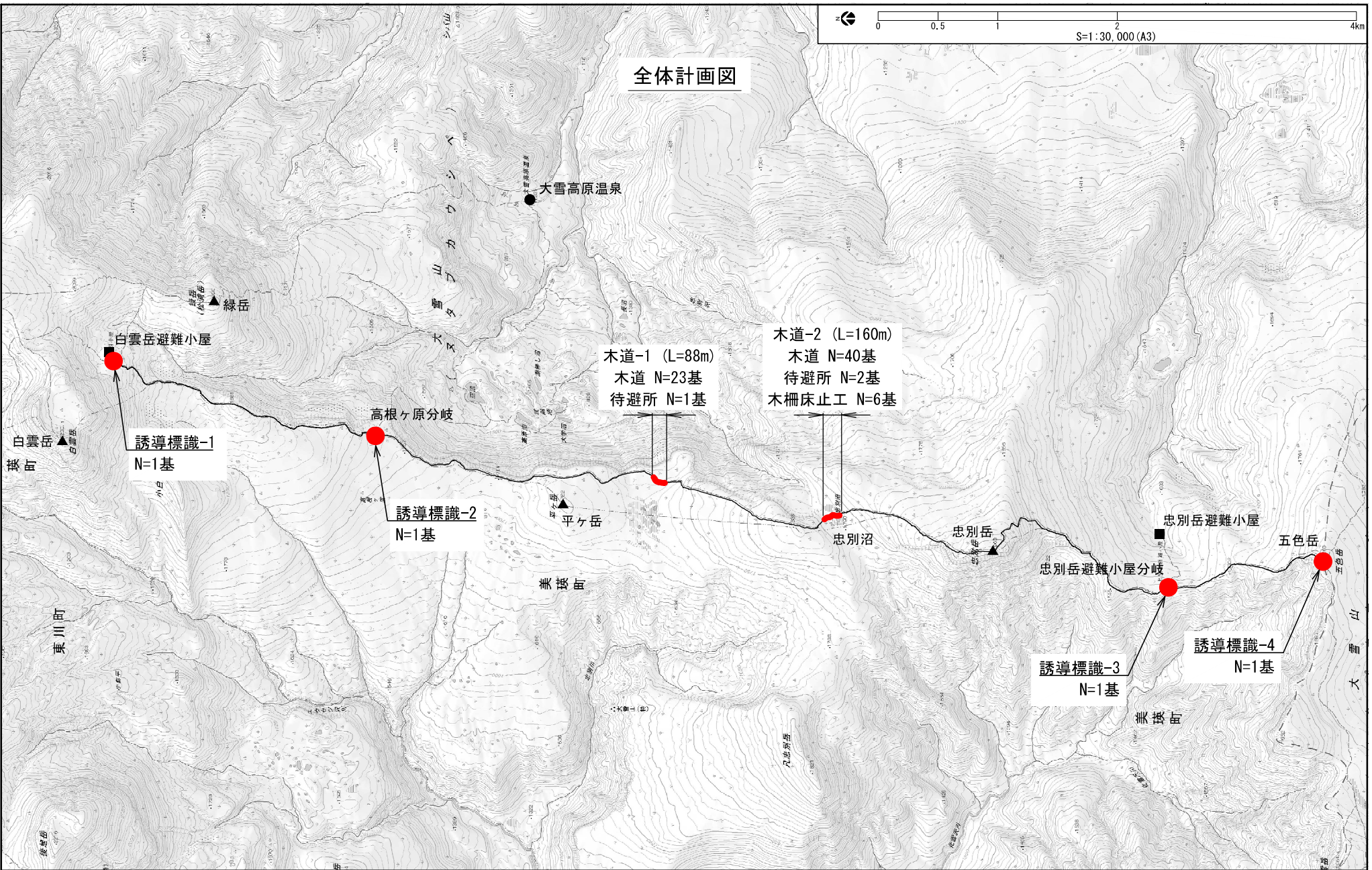
図面確認

- 
- 
- 
- 
- 

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度（補給）大雪山国立公園 中岳総合平線道路（歩道）実施設計業務		
図面名称	詳細図-1	縮尺	1:40(1:20) 区( )はA幅大時
年月日	令和5年 月	図面番号	20 / 31
会社名		図	監
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	製	監
		概	出


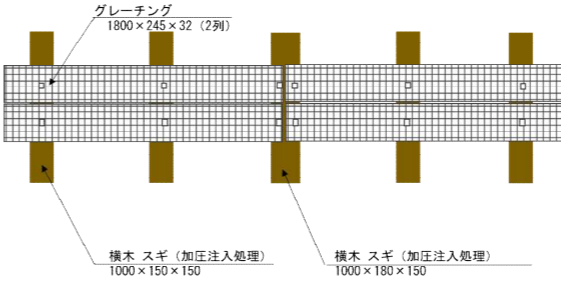
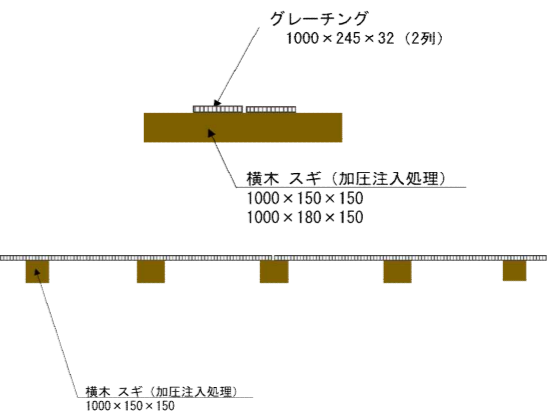

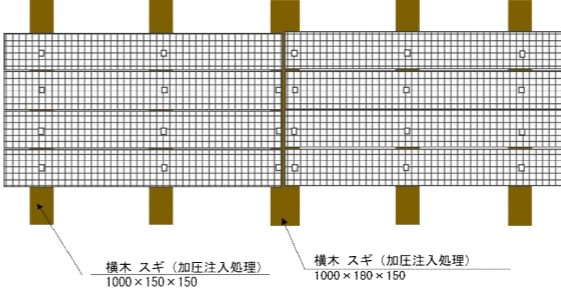
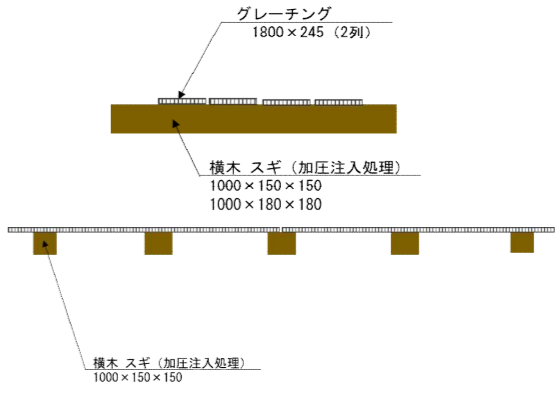

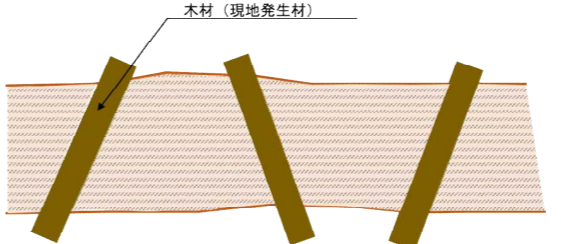
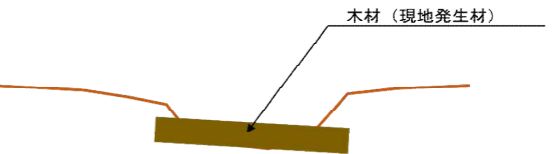


全体計画図



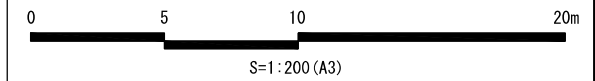
出典：本図の背景図は『国土地理院 地理院地図 電子地形図25000』を使用しています。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和3年度 大雪山国立公園 大雪山縦走緑道路(歩道)実施設計業務		
図面名称	全体計画図	縮尺	1:30,000(A3)
年月日	令和4年5月	図面番号	2 / 25
会社名	株式会社ニュージェック	調査	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	調査	設計

工法名	工法の概要	施工例	標準平面図	標準断面図
木道工	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼製グレーチング(ケンボージック加工)を、設置した横木にビスで固定する。</li> <li>横木は、基本的に既設木道の横木と同位置に置き、高さを調整する。</li> <li>地面に傾き等があり、平坦に横木を設置できない場合は、整地した後に設置する。</li> <li>大きな傾きや侵食等が生じている場合は、ヤシ製土嚢に適量の土砂を詰め、高さを調整した後、横木を設置する。</li> </ul> <p>&lt;材料&gt; 鋼製グレーチング(ケンボージック加工)、角材(加圧注入処理)、止め具、ヤシ製土嚢、土砂</p>			
待避所工	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼製グレーチング(ケンボージック加工)を、横木にビスで固定する。</li> <li>横木は、基本的に既設木道の横木と同位置に置き、高さを調整する。</li> <li>地面に傾き等があり、平坦に横木を設置できない場合、整地した後に設置する。</li> <li>大きな傾きや侵食等が生じている場合は、ヤシ製土嚢に適量の土砂を詰め、高さを調整した後、横木を設置する。</li> </ul> <p>&lt;材料&gt; 鋼製グレーチング(ケンボージック加工)、角材(加圧注入処理)、止め具、ヤシ製土嚢、土砂</p>			
木柵床止工	<ul style="list-style-type: none"> <li>撤去した木道を適切な長さに切断し、侵食部に階段状に設置する。</li> <li>床止工は、ハの字逆ハの字に設置する。(等間隔にしない)</li> <li>木材の端を侵食部の側面に埋め込み、隙間が生じないように設置する。</li> <li>木材にやや傾斜をつけ、水が蛇行して流れるように設置する。</li> <li>踏み面は、石材またはヤシ繊維と土砂をを中詰めしたヤシ製土嚢を置く。</li> </ul> <p>&lt;材料&gt; 撤去材(床板)、石材、土砂、ヤシ製土嚢袋</p> <p>&lt;材料&gt; ヤシ製土嚢袋、ヤシ製緑化ネット、ヤシ繊維、土砂</p>			

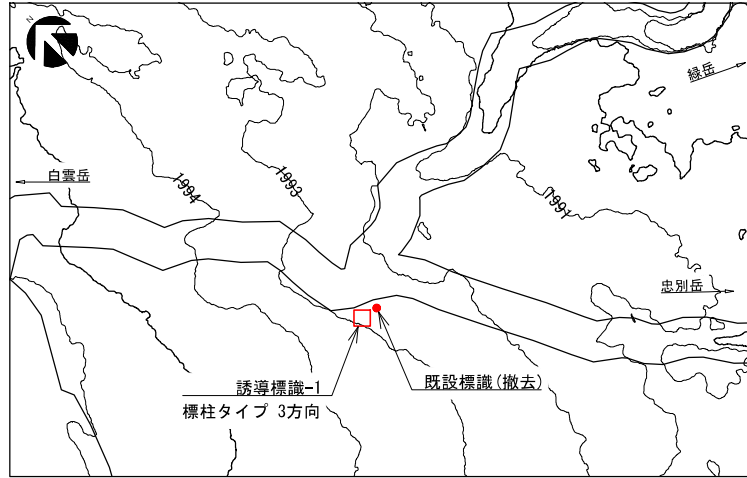


# 計画平面図-3 (誘導標識)



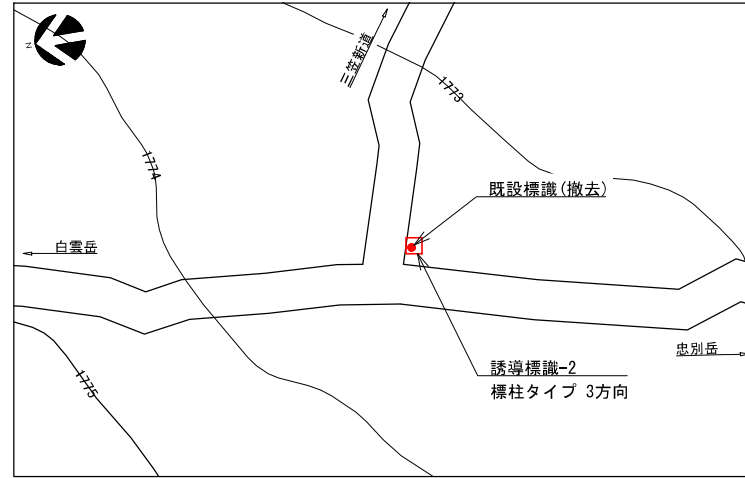
## 誘導標識-1 白雲岳避難小屋

標柱タイプ-3a  
3面表示 (CG印刷シート貼り・アルミ複合板)



## 誘導標識-2 高根ヶ原分岐

標柱タイプ-3a  
3面表示 (CG印刷シート貼り・アルミ複合板)



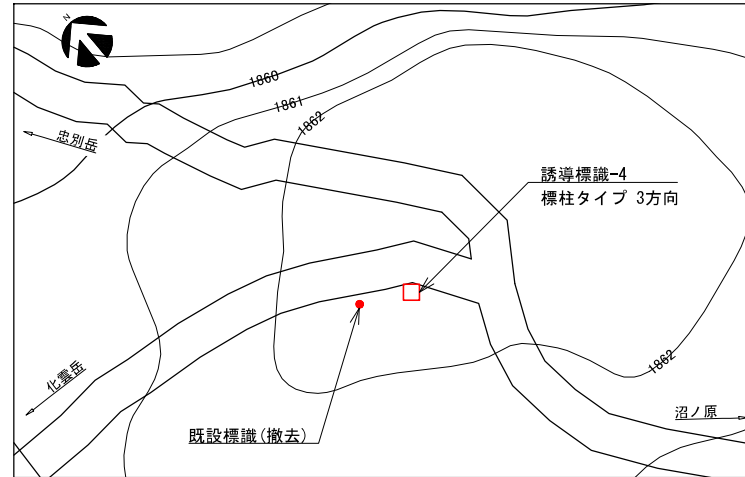
## 誘導標識-3 忠別岳避難小屋分岐

標柱タイプ-3a  
3面表示 (CG印刷シート貼り・アルミ複合板)



## 誘導標識-4 五色岳

標柱タイプ-3a  
3面表示 (CG印刷シート貼り・アルミ複合板)



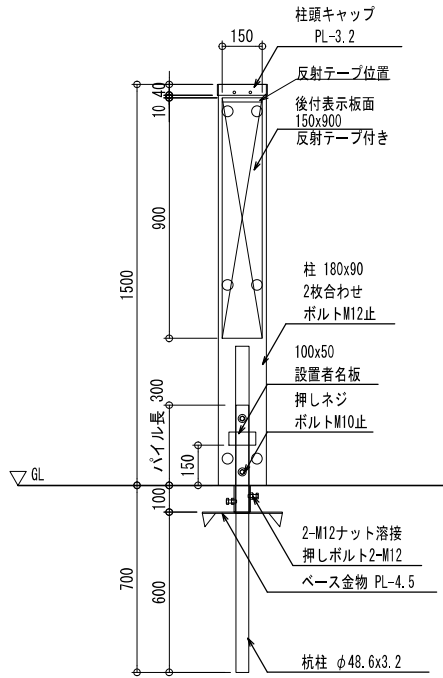
凡例	
□	誘導標識 (再整備)
●	既設標識 (撤去)

- 特記事項
- ・設置位置及び方向の詳細は監督員の指示による。

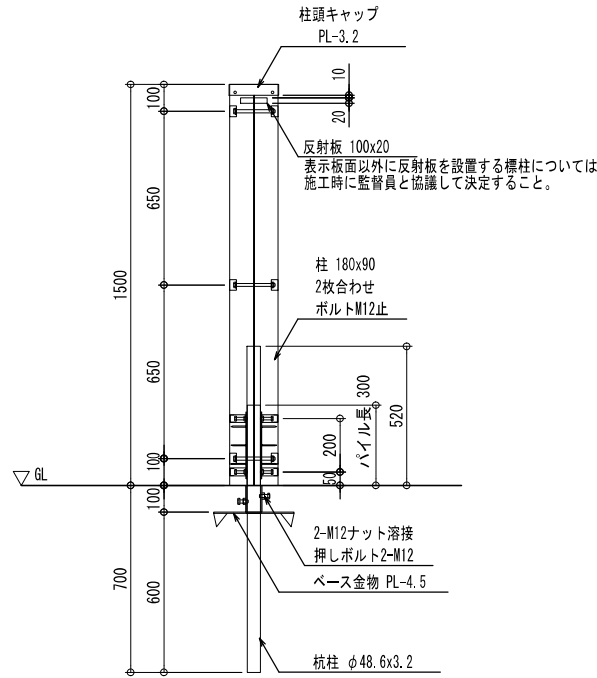
公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和3年度 大雪山国立公園 大雪山縦走緑道路(歩道) 実施設計業務		
図面名称	計画平面図-3	縮尺	1:200 (A3) 1:100 (A1)
年月日	令和4年5月	図面番号	5 / 25
会社名	株式会社ニュージエック	編者	野村
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	図面	設計

# 誘導標識詳細図 標柱タイプ

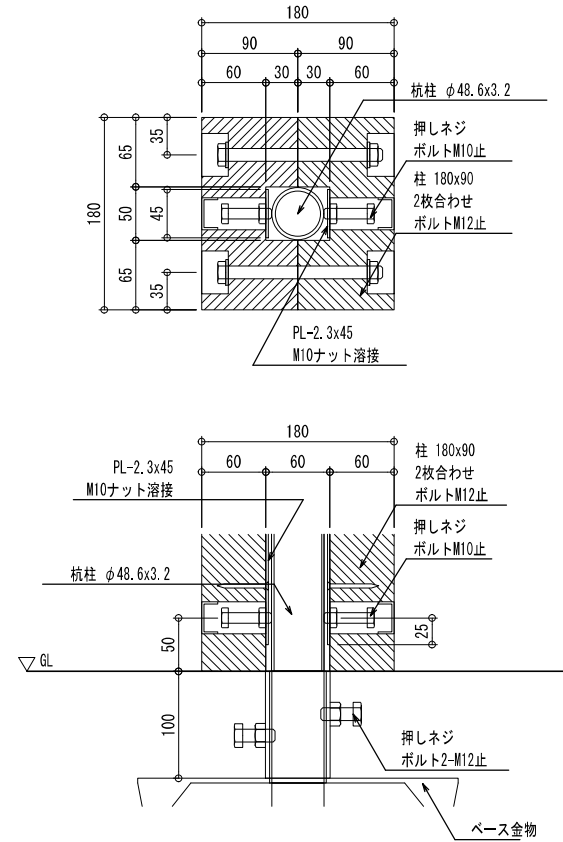
立面図 S=1:20



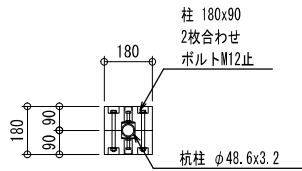
側面図 S=1:20



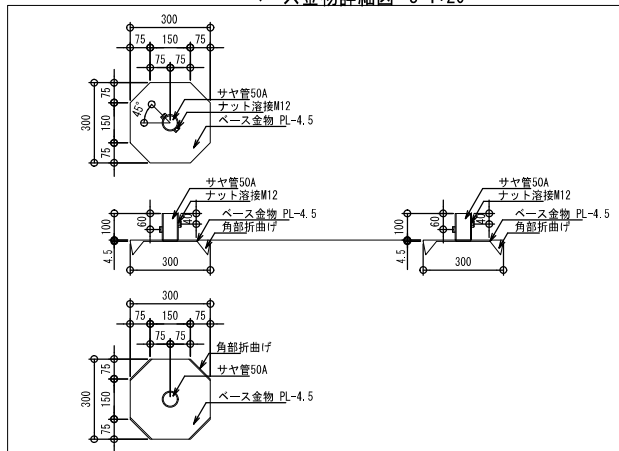
脚部詳細図 S=1:5



平面図 S=1:20



ベース金物詳細図 S=1:20



**特記事項**

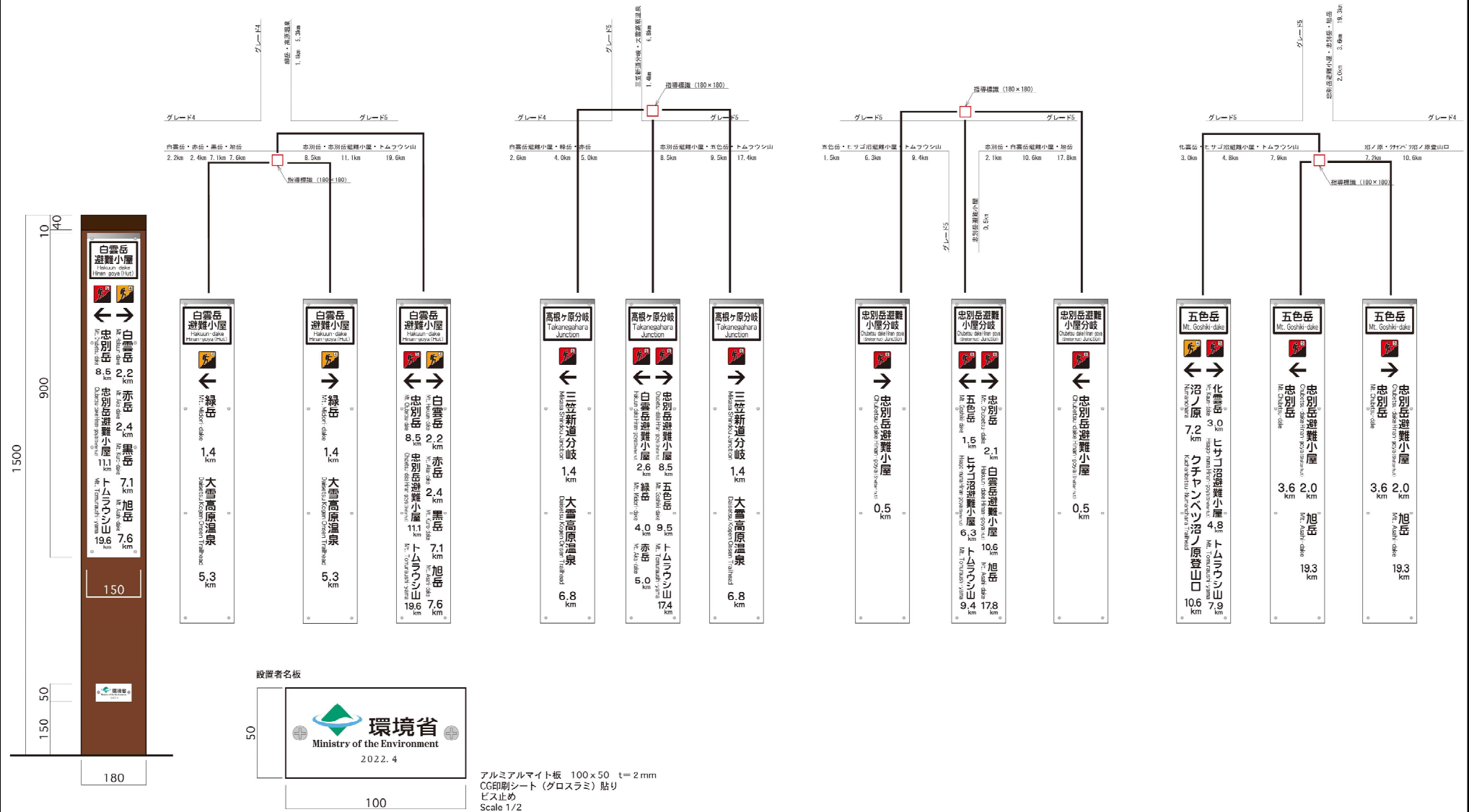
- ・標柱は標柱接合部を側面にすることを基本とするが、監督員と協議して決定すること。
- ・設置者名板位置は背面を基本とするが、施工時に監督員と協議すること。

**特記事項**

木材	<p>木材は地域流通材杉材（角材はプレーナ加工）を使用する。                  木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。                  木材は全て加工後、JIS K 1570木材保存剤（無色）を加圧注入処理する。                  加圧注入方法はJIS A 9002による。                  保存処理の性能はJAS K4相当、又は、AQ屋外製品部材1種同等以上とする。                  木材の見え掛り部は面取を行なう。                  木材の地際は下端から15cm程度の範囲にインサイジング加工を行う。                  木材の見え掛り部は雨水の浸透を防ぐ油性のある木材表面保護塗料（こげ茶色）で塗装する。                  柱の地照部は下端から15cm程度の範囲に油性の表面処理用防腐防蟻剤を塗布する。</p>
鋼材	<p>鋼材は、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。                  柱頭キャップは塗装仕上げとする。</p>
ボルト類	<p>ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。                  本ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。</p>
座堀	<p>見え掛り（木材表面）のボルト・コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。                  見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。</p>

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和3年度 大雪山国立公園 大雪山縦走標識道路（歩道）実施設計業務		
図面名称	詳細図-5	図尺	図示
年月日	令和4年5月	図面番号	15 / 25
会社名	株式会社ニューエック	調査	設計
事務所名	兵庫県北海草地方環境事務所	照査	設計

# 誘導標識レイアウト図

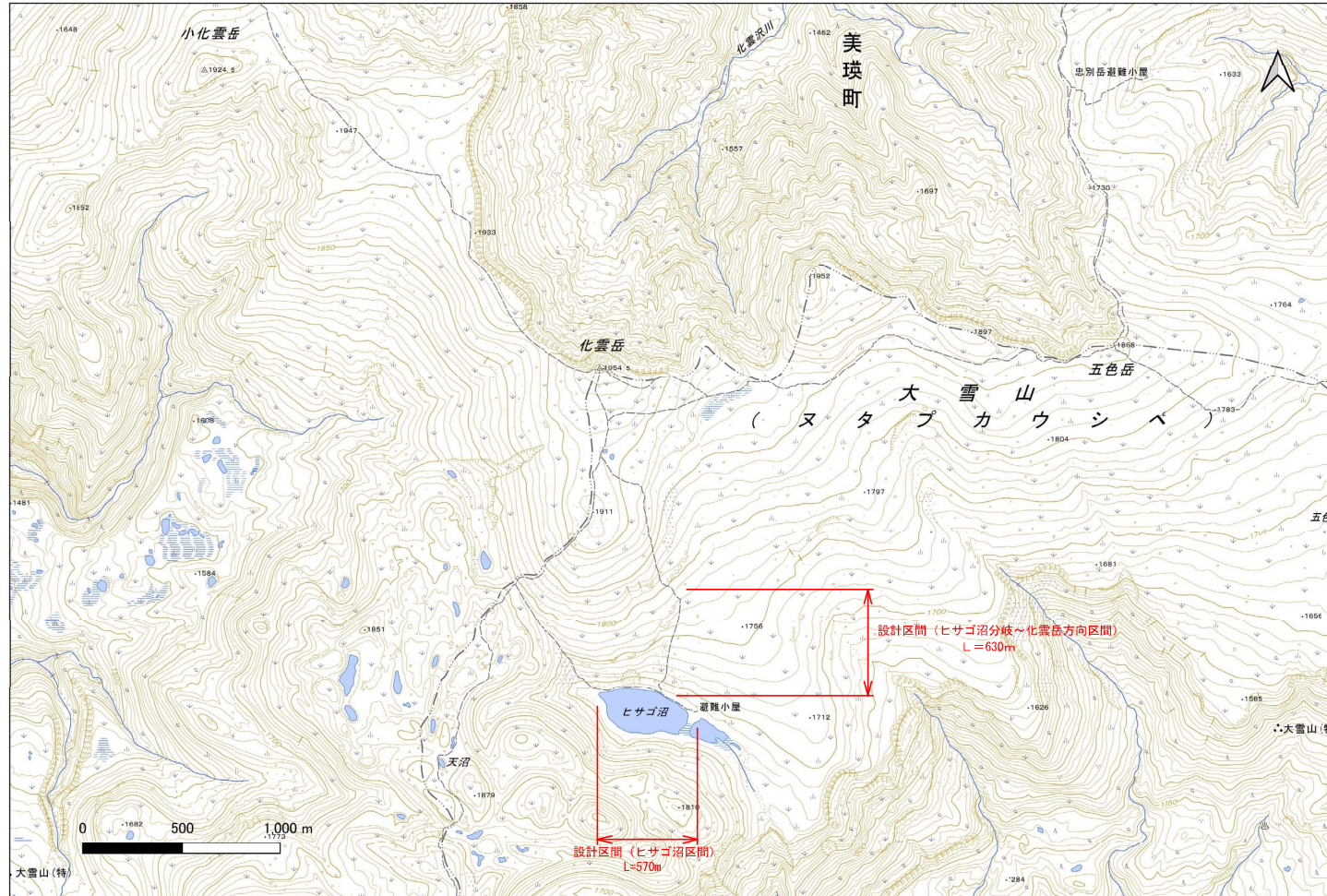


## ●特記事項

- ・設置者名板位置は施工時に監督員と協議すること。
- ・表示内容については、監督員と協議の上決定すること。

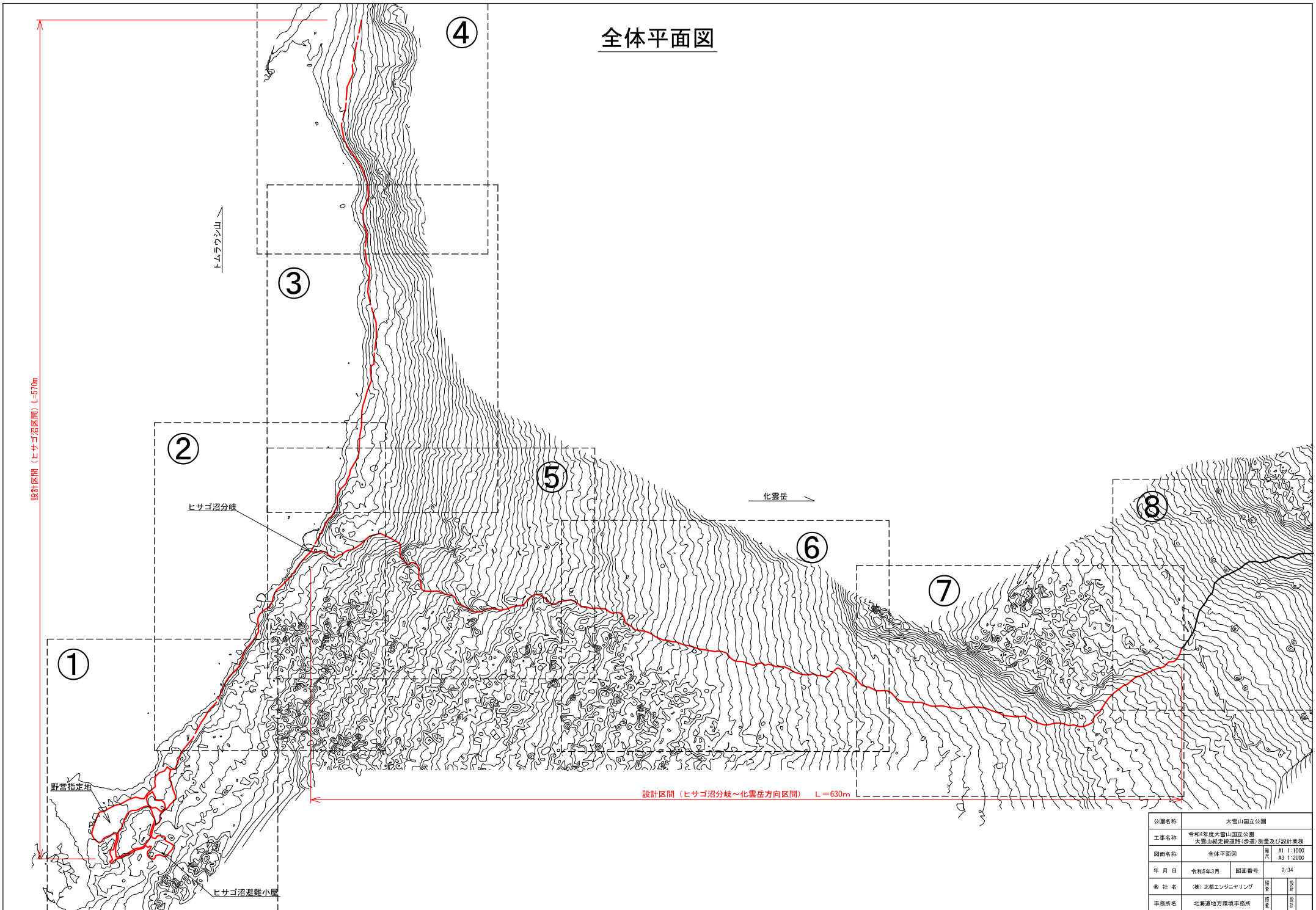
公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和3年度 大雪山国立公園 大雪山縦走標識(歩道)実施設計業務		
図面名称	詳細図-6	図面番号	-
年月日	令和4年5月	図面番号	16 / 25
会社名	株式会社ニューエック	調査	設計
事務所名	環境省北海道地方環境事務所	照査	設計

位置図



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走補道(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	位置図	縮尺	A1 1:2500 A3 1:5000
年月日	令和5年3月	図番番号	1/34
会社名	(株) 北部エンジニアリング	担当者	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	担当者	設計

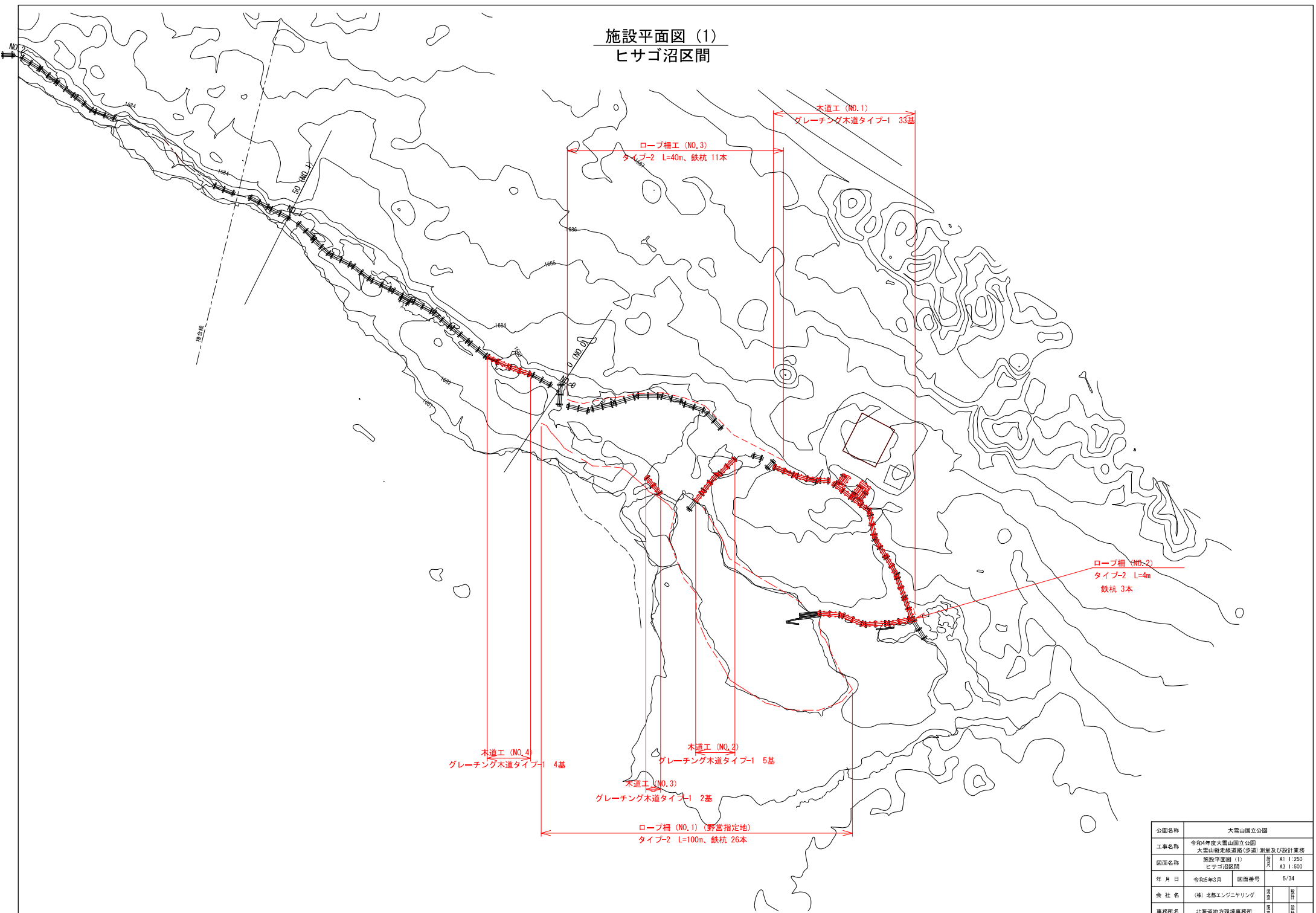
# 全体平面図



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和6年度大雪山国立公園 大雪山縦走経路(伊達)遊歩道整備及び設計業務		
図面名称	全体平面図	縮尺	A1 1:1000 A3 1:2000
年月日	令和5年3月	図面番号	2/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	図章	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	図章	監印

# 施設平面図 (1)

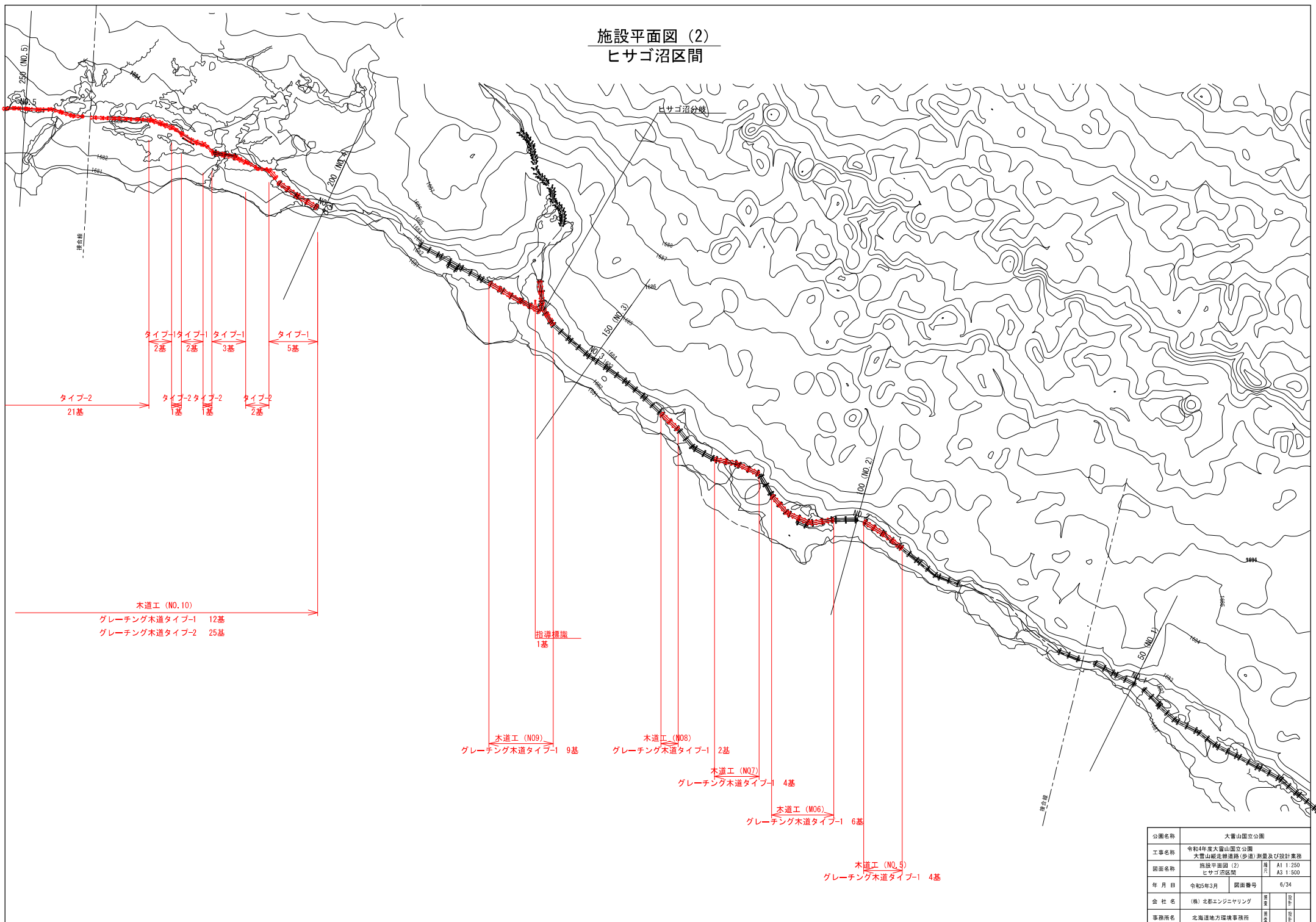
## ヒサゴ沼区間



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走線道路(歩道)遊歩及び設計業務		
図面名称	施設平面図 (1) ヒサゴ沼区間	縮尺	A1 1:250 A3 1:500
年月日	令和5年3月	図面番号	5/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	図案	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	図章	設計

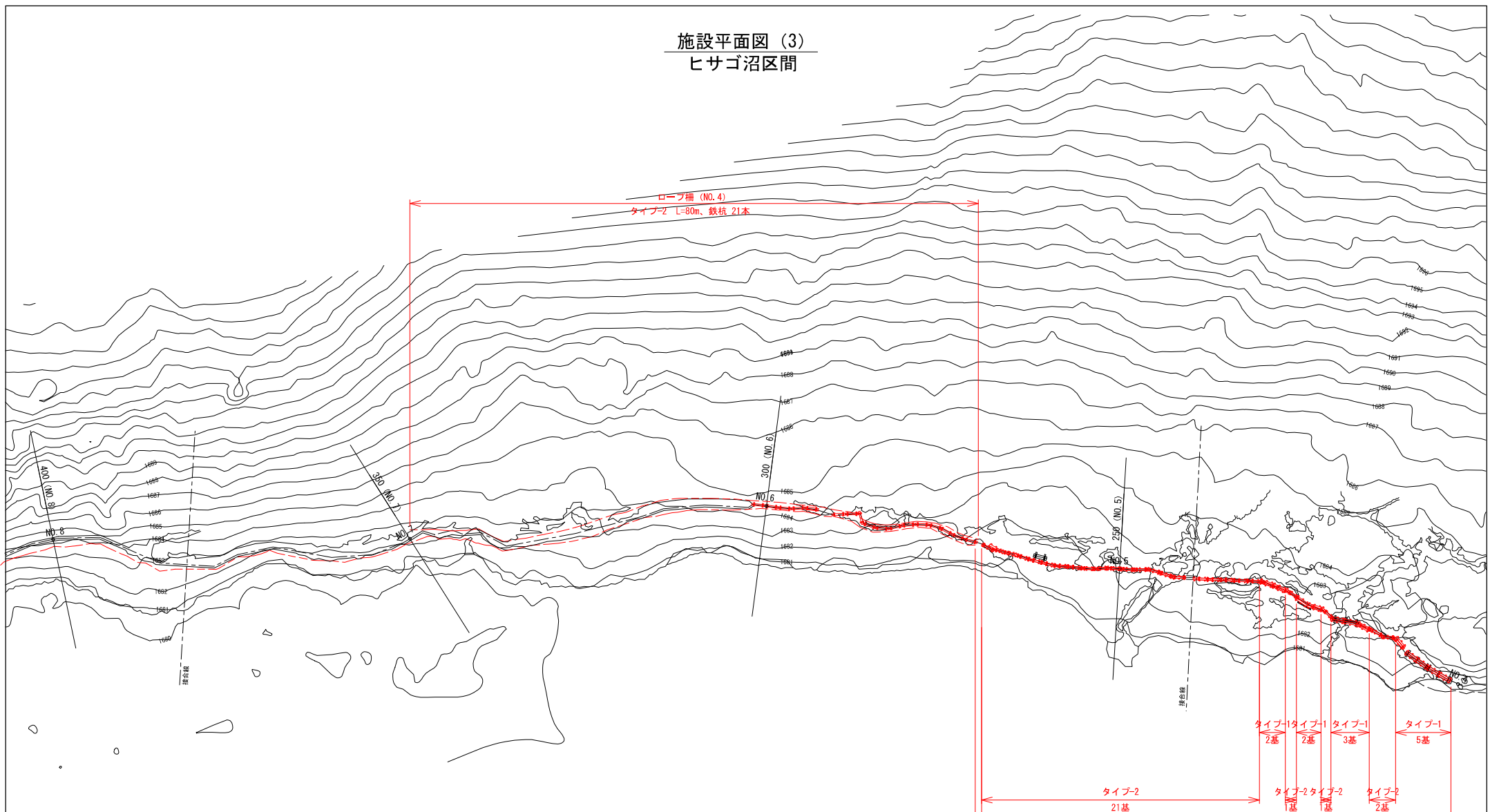
# 施設平面図 (2)

## ヒサゴ沼区間



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走遊歩道(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	施設平面図(2) ヒサゴ沼区間	用尺	A1 1:250 A5 1:500
年月日	令和5年3月	図面番号	6/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	調査	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	調査	設計

施設平面図 (3)  
ヒサゴ沼区間



ロープ柵 (NO.4)  
タイプ2 L=80m、鉄杭 21本

ロープ柵 (NO.5)  
タイプ2 L=240m、鉄杭 61本

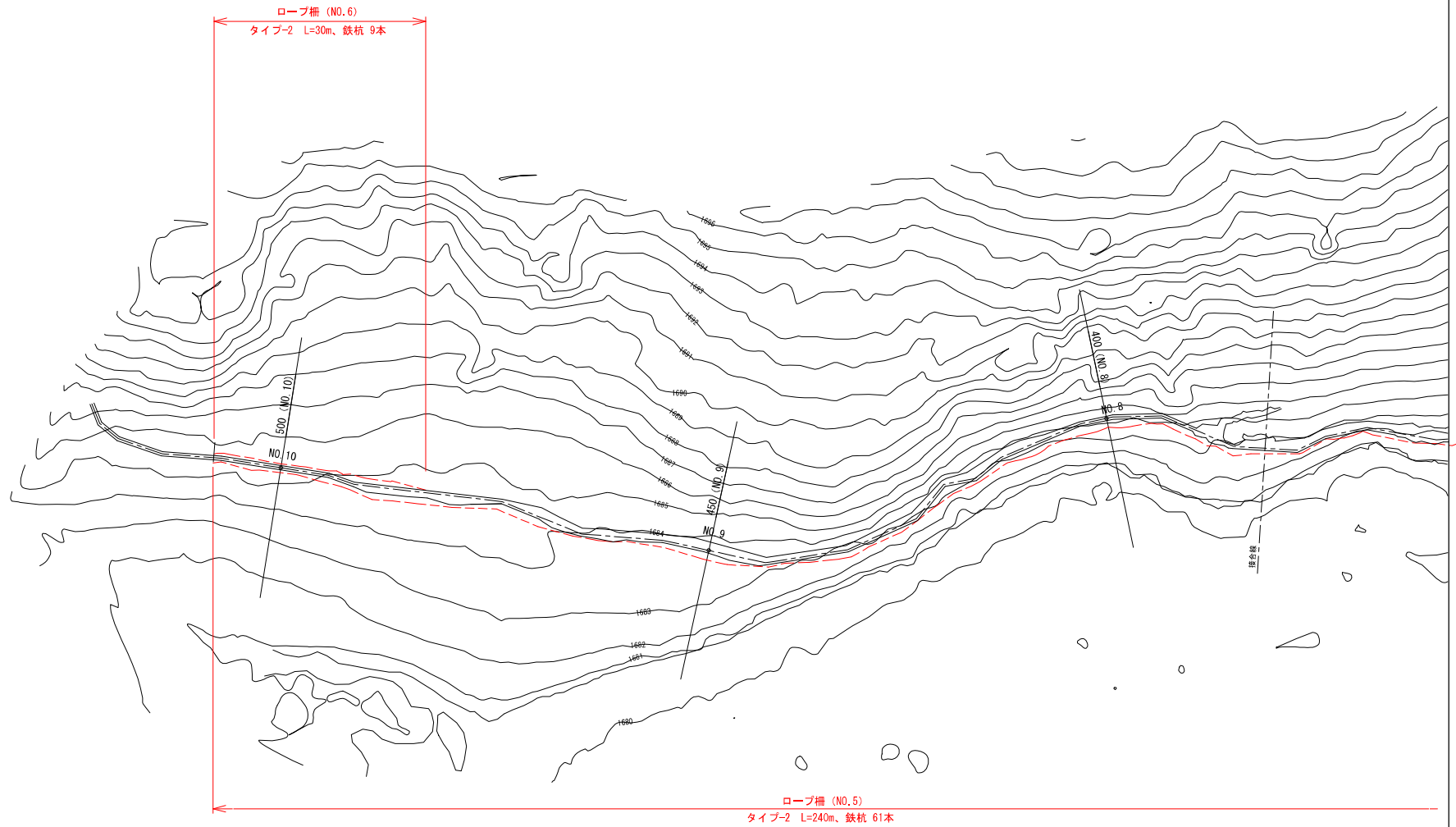
木道工 (NO.10)  
グレーチング木道タイプ1 12基  
グレーチング木道タイプ2 25基

タイプ1 2基  
タイプ1 2基  
タイプ1 3基  
タイプ1 5基  
タイプ2 21基  
タイプ2 1基  
タイプ2 1基  
タイプ2 2基

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走線道路(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	施設平面図 (3) ヒサゴ沼区間	図 尺	A1 1:250 A3 1:500
年 月 日	令和5年3月	図面番号	7/34
会 社 名	(株)北都エンジニアリング	図 主	設 計
事務所名	北海道地方環境事務所	図 主	設 計



# 施設平面図 (4) ヒサゴ沼区間



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走歩道路(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	施設平面図 (4) ヒサゴ沼区間	用尺	A1 1:250 A3 1:500
年月日	令和5年3月	図面番号	8/34
会社名	(株) 北都エンジニアリング	調査	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	調査	設計

施設平面図 (5)  
ヒサゴ沼分岐～化雲岳方向区間

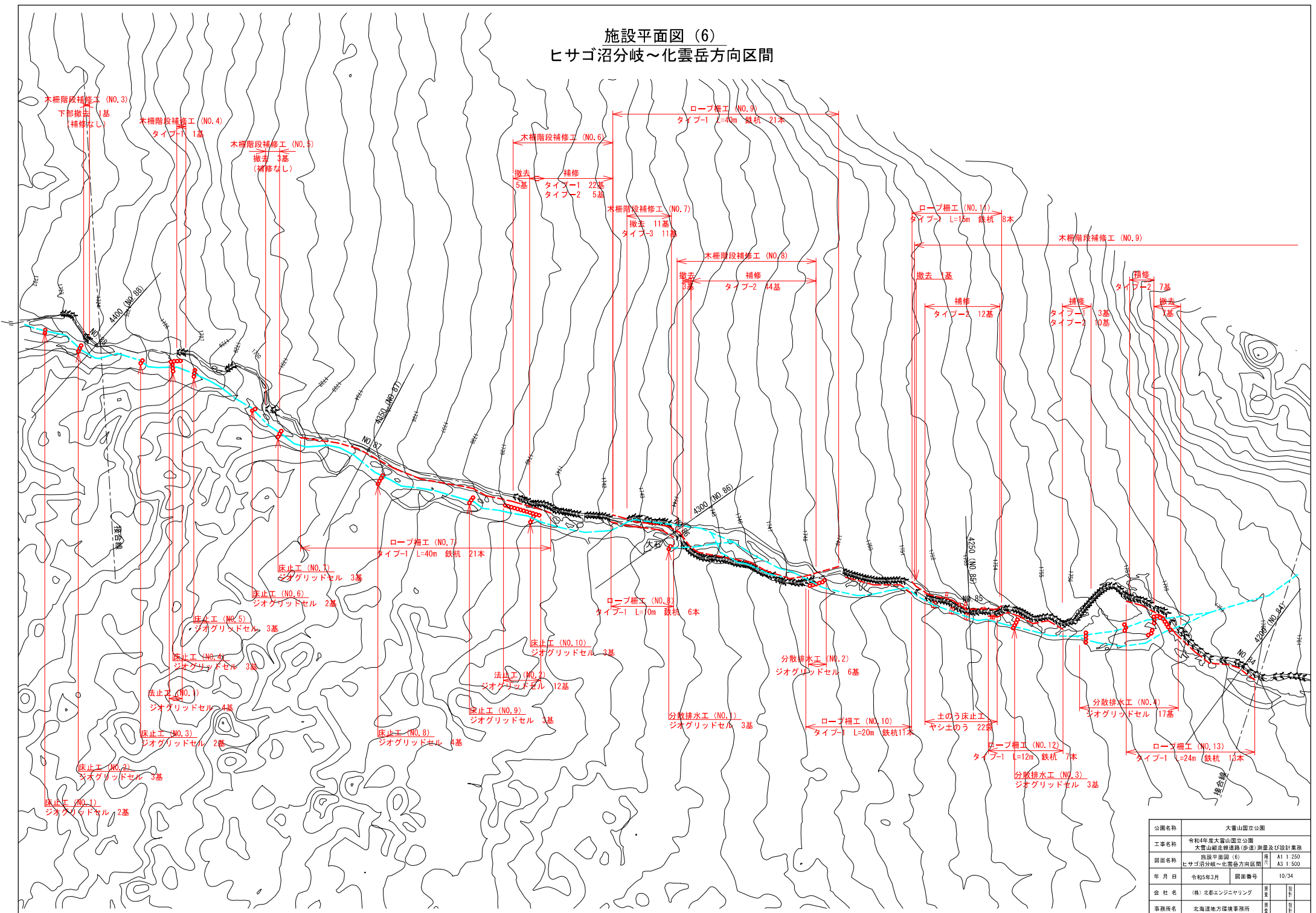
化雲岳方向区間設計起点

木柵階段補修工 (NO. 1)  
撤去 4基  
(補修なし)

木柵階段補修工 (NO. 2)  
撤去 2基  
(補修なし)

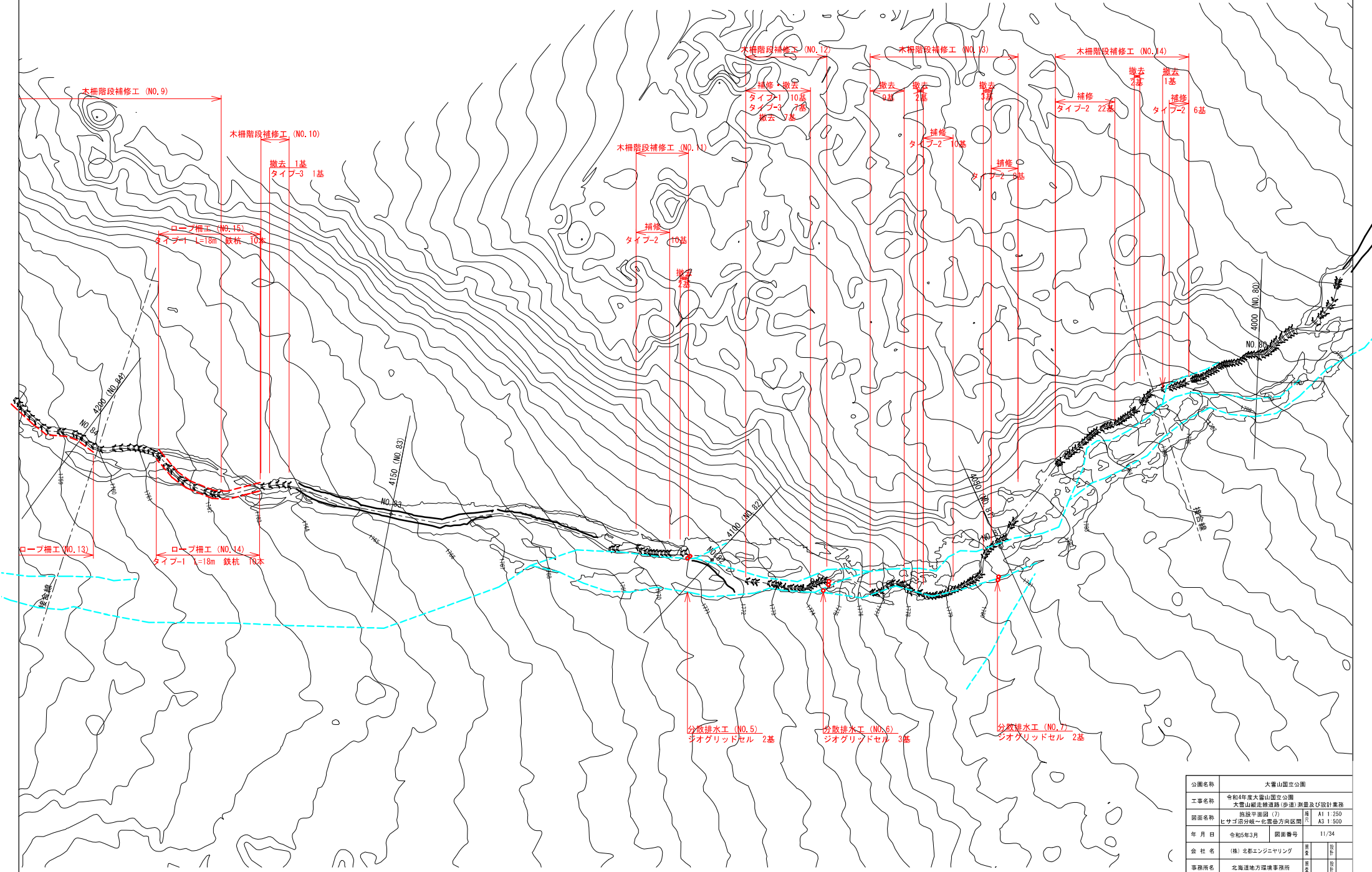
公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走補遺路(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	施設平面図 (5)	図尺	A1 1:250 A3 1:500
年月日	令和5年3月	図面番号	9/34
会社名	(株) 北都エンジニアリング	担当者	宮下 啓平
事務所名	北海道地方環境事務所	担当者	宮下 啓平

# 施設平面図 (6) ヒサゴ沼分岐～化雲岳方向区間



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走遊歩道(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	施設平面図 (6)	図尺	A1 1:250 A3 1:500
年月日	令和5年3月	図面番号	10/34
会社名	(株) 北都エンジニアリング	調査	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	調査	設計

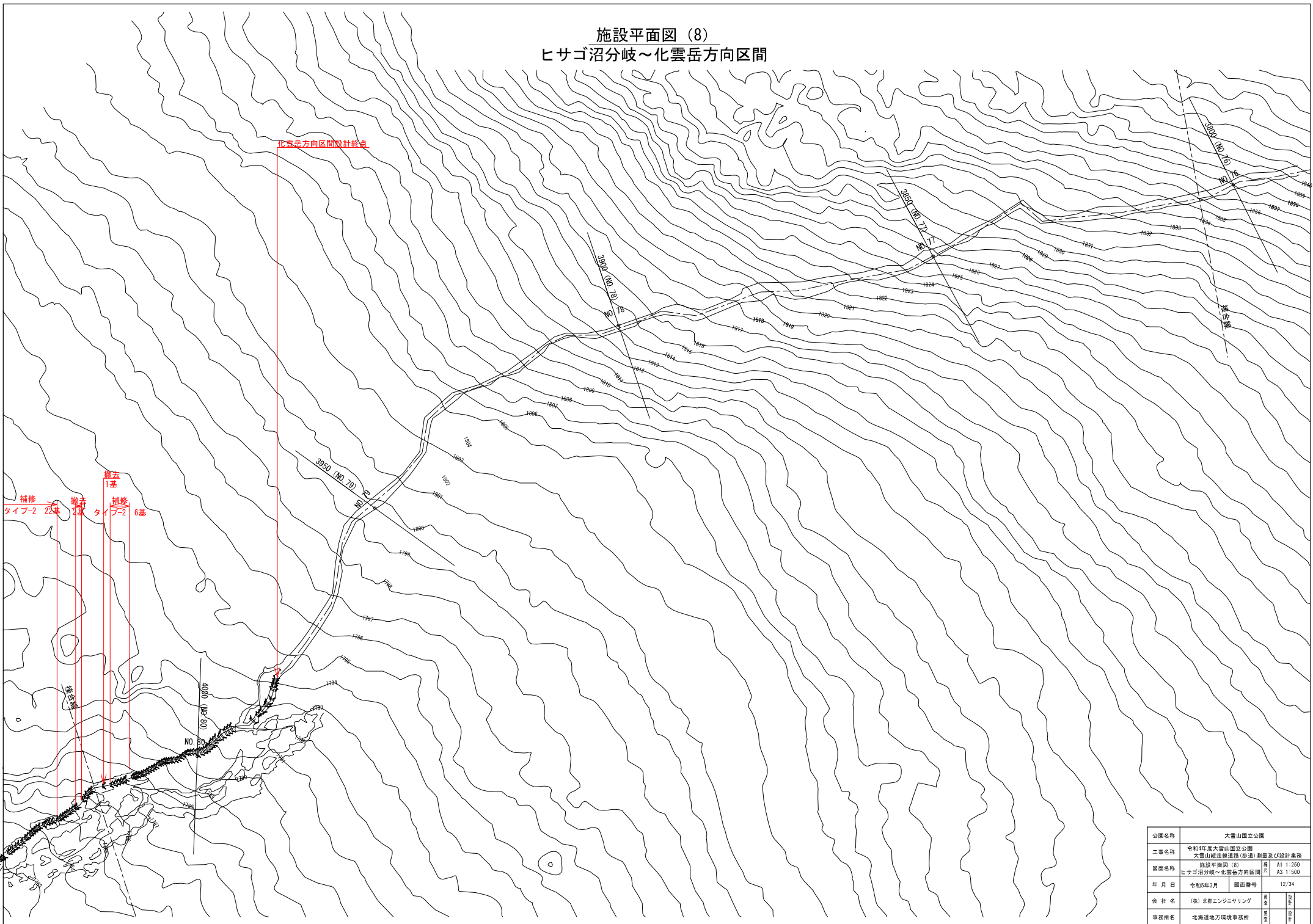
# 施設平面図 (7) ヒサゴ沼分岐～化雲岳方向区間



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走補遺路(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	施設平面図 (7)	縮尺	A1 1/250 A3 1/500
年月日	令和5年3月	図面番号	11/34
会社名	(株) 北都エンジニアリング	調査	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	調査	設計

# 施設平面図 (8)

## ヒサゴ沼分岐～化雲岳方向区間

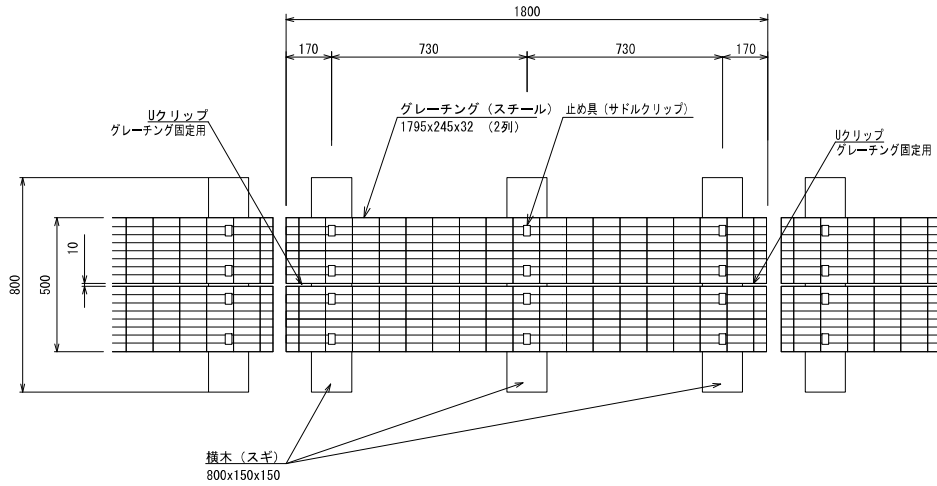


公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走補遺路(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	施設平面図 (8)	冊	A1 1/250
	ヒサゴ沼分岐～化雲岳方向区間	頁	A5 1/500
年月日	令和5年3月	図面番号	12/34
会社名	(株) 北都エンジニアリング	調査	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	測量	監修

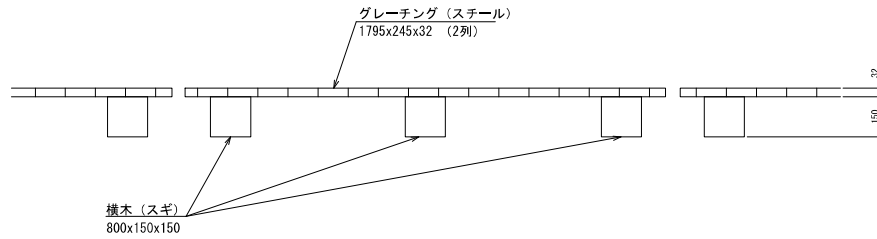
# グレーチング木道詳細図

## タイプ-1

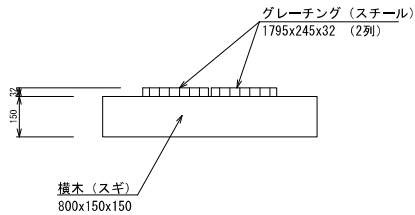
### 平面図



### 側面図

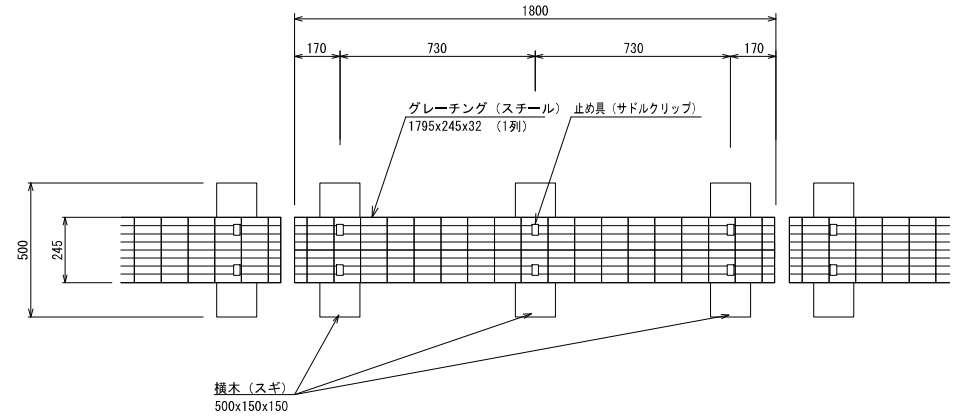


### 断面図

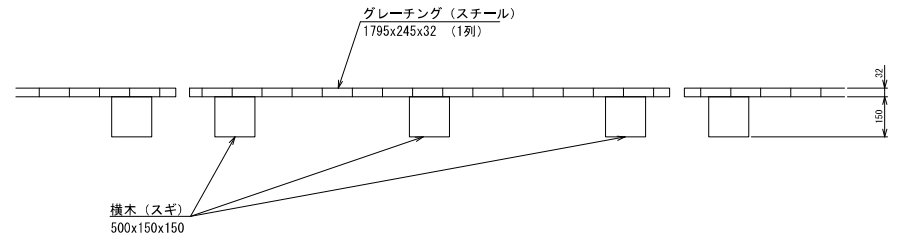


## タイプ-2

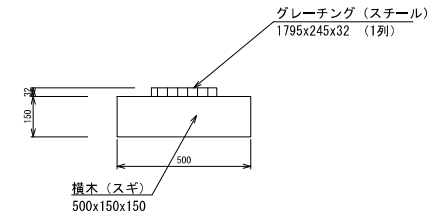
### 平面図



### 側面図



### 断面図



#### 【留意事項】

- 植生への影響を最小限とするため、極力既設木道の横木と同位置に新設横木を設置すること。
- 横木は整地し高さを調整したうえで設置すること。整地のため掘削した土砂はヤシ土のうに詰め、既設木道撤去後の凹部などに設置すること。
- サドルクリップは、横木の端から50mm程度離し設置すること。
- 木道の設置位置は、監督職員と協議の上決定すること。
- 横木は端部から0~100mmを基本幅とするが、監督員と協議のうえ現場状況に応じて適宜調整すること。
- 施工に当たっては、植生部への掘削が最小限とするよう留意すること。

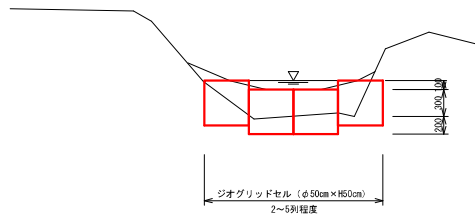
#### 特記事項

木材	木材は地域流通材杉材を使用する。
	木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
	木材は全て加工後、JIS K 1570木材保存剤（無色）を加圧注入処理する。
	加圧注入方法はJIS A 9002Iによる。
鋼材	保存処理の性能はJAS K4相当、又は、A0屋外製品部材1種同等以上とする。
	木材はインサイジング加工を行う。
	鋼材は、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
	ボルト・コーナースクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。

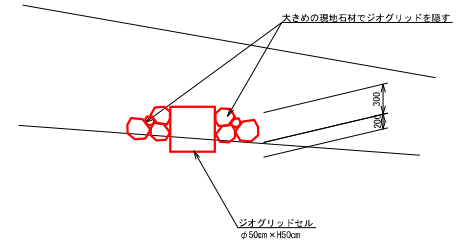
公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走経路(伊達)測量及び設計業務		
図面名称	グレーチング木道詳細図	図尺	A1 1:10 A3 1:20
年月日	令和5年3月	図面番号	13/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	照会	表示
事務所名	北海道地方環境事務所	照会	表示

## 床止工一般詳細図 (大規模侵食箇所)

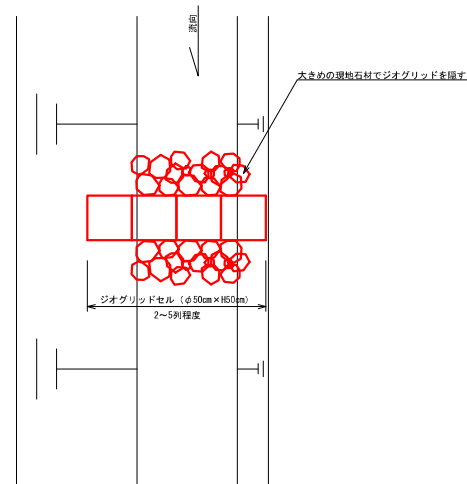
標準断面図



側面図



平面図



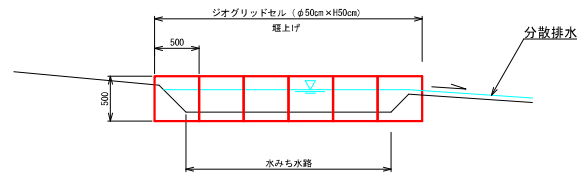
**【留意事項】**

- 設置位置の詳細は、監督職員の指示によること。
- 施工に当たっては、特に侵食箇所側面部の掘削は必要最小限とすること。
- 現地石材は新たな掘削は行わず、施工時の掘削土や周辺の浮石を用いること。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走経路(伊達)測量及び設計業務		
図面名称	床止工一般詳細図	図尺	A1 1:30 A3 1:60
年月日	令和5年3月	図面番号	15/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	照会	照会
事務所名	北海道地方環境事務所	照会	照会

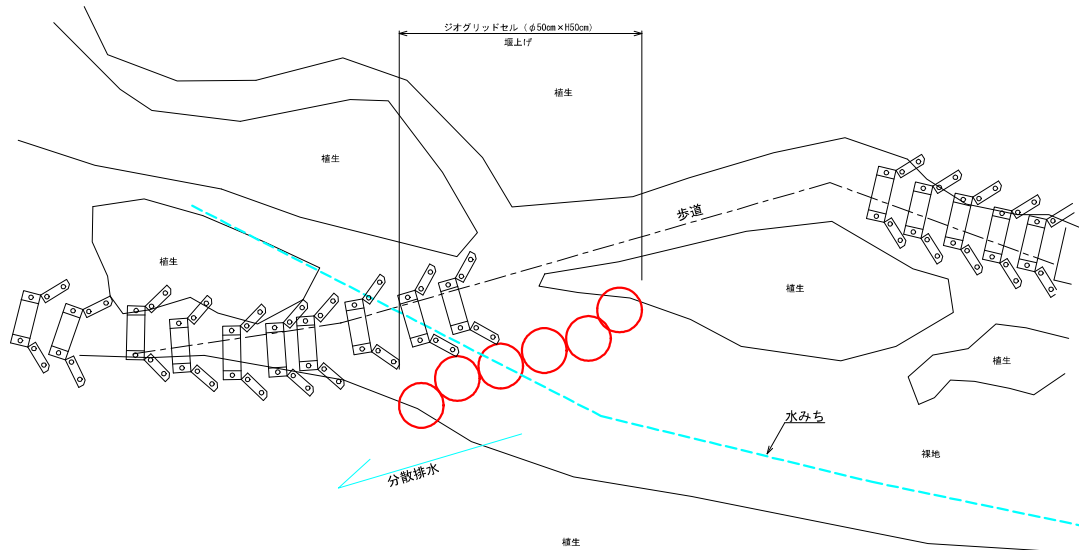
# 分散排水工一般詳細図

## 標準断面図



## 平面図

分散排水工 (NO.2) の例



### 【留意事項】

- ・設置位置の詳細は、監督職員の指示によること。

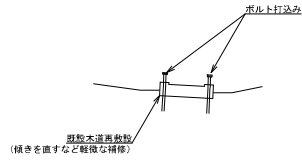
公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走経路(伊達)測量及び設計業務		
図面名称	分散排水工一般詳細図	縮尺	A1 1:30 A3 1:60
年月日	令和5年3月	図面番号	17/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	照会	照会
事務所名	北海道地方環境事務所	照会	照会



# 木柵階段補修工一般詳細図

## タイプ-1 ヤシ土のう無し

木柵階段の補修

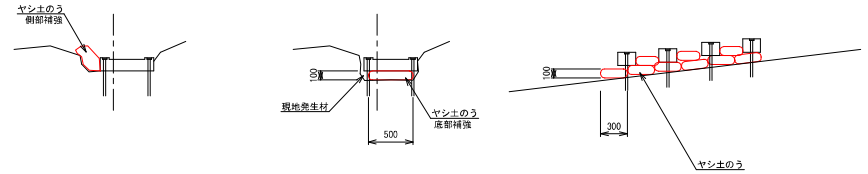


## タイプ-2 ヤシ土のう3袋/基 (標準)

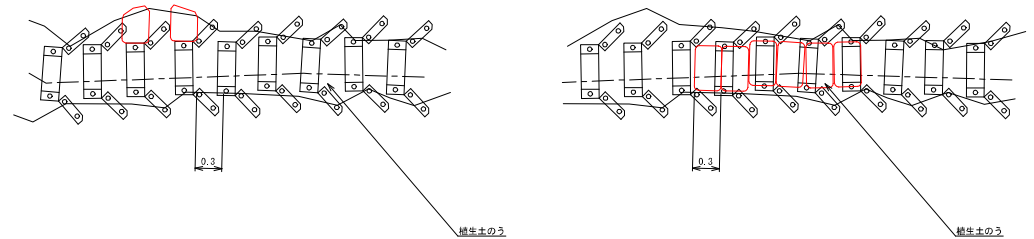
ヤシ土のうを用いた底部・側部の補修

標準断面図

側面図



平面図

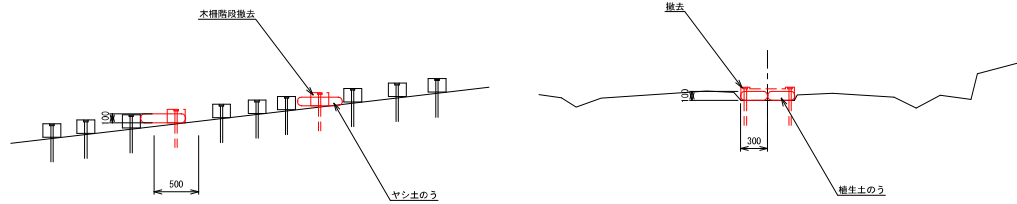


## タイプ-3 ヤシ土のう2袋/基 (標準)

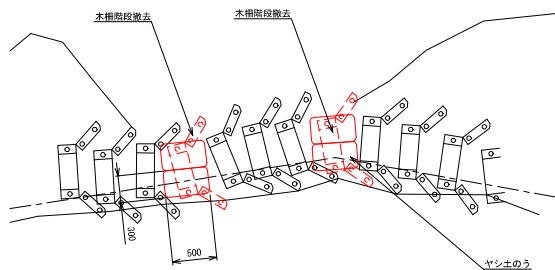
撤去した木柵階段部の歩行路復旧

側面図

標準断面図



平面図



### 【留意事項】

- 設置位置の詳細は、監督職員の指示によること。
- 各タイプのヤシ土のう数は標準であり、現地状況に応じて必要数を設置すること。

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走経路連絡(伊達)測量及び設計業務		
図面名称	木柵階段補修工一般詳細図	図尺	A1 1:30 A3 1:60
年月日	令和5年3月	図面番号	20/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	照会	照会
事務所名	北海道地方環境事務所	照会	照会

# 指導標識配置一般図 (2)

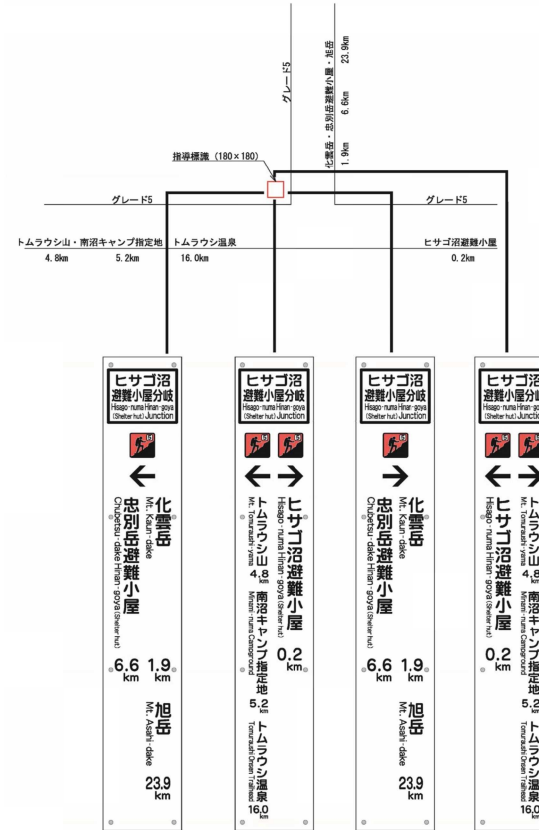
## ヒサゴ沼避難小屋分岐

配置平面図



配置レイアウト図

4面表示 (CG印刷シート貼り・アルミ複合版)  
単管基礎 (ベース金物併用)



公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和4年度大雪山国立公園 大雪山縦走路道路(歩道)測量及び設計業務		
図面名称	指導標識配置一般図(2)	図尺	A1 1:30 A3 1:60
年月日	令和5年3月	図面番号	22/34
会社名	(株)北都エンジニアリング	照査	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	照査	設計

<大雪山国立公園登山道・自然情報 情報提供フォーマット>

・情報の種類 【登山道情報／自然情報／その他】	登山情報
・タイトル	ヤンベタツプ五色岳線に設計業者が立ち入ります。
・日付	令和5年7月1日～令和5年9月20日 ※予定
・山域／場所	ヤンベタツプ五色岳線
・内容 (現場の状況写真(別添で送付)や情報元HPのリンク先貼付など、	道では、ヤンベタツプ五色岳線の登山道再整備に向けた設計委託業務を発注予定であり、設計業者が当該区間に立ち入ります。
・登山者へのメッセージ (必要に応じて記載して下さい)	登山者の皆様には、ご不便・ご迷惑をおかけしますがご協力よろしくお願ひします。
・情報提供元	北海道十勝総合振興局 保健環境部環境生活課自然環境係

<記載する上での留意事項>

- ・現地の状況(事実)を適切に記載して下さい
- ・事実を通じて登山者自らに気づきを促すことを重視して下さい

## 然別自然休養林保護管理協議会 令和5年度事業計画

然別自然休養林保護管理協議会は、然別湖周辺に広がる国有林の保護管理を目的とした団体です。

### 加盟団体

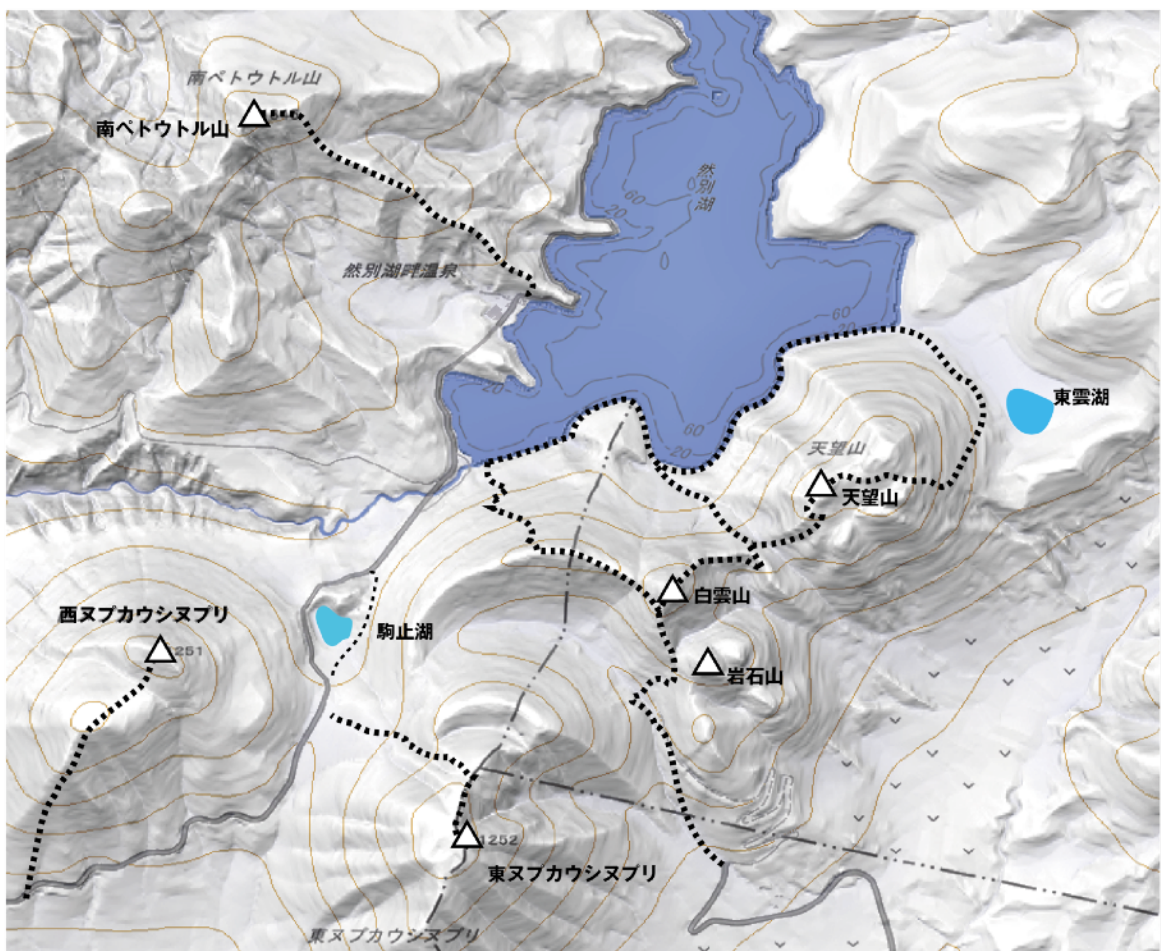
環境省上士幌自然保護官事務所・十勝西部森林管理署東大雪支署・十勝総合振興局・警察署・帯広建設管理部鹿追出張所・北海道ネイチャーセンター・ホテル風水・いわなや北海道電力・しほろ自然に親しむ会・拓殖バス・とち鹿追ジオパーク推進協議会・上士幌町・士幌町・鹿追町（事務局）

### 今年度の活動予定

※NPO法人かむい様には、南ペトウトル及び西ヌプカウシヌプリの登山道整備（倒木除去及び草刈り）を実施していただき大変感謝しています）

○春季登山道整備（6月）

○秋季登山道整備（日程未定 整備場所は適宜）



活動エリア